



第49回 全国高等学校総合文化祭
かかわ総文祭2025

讃岐オの花

自然科学部門実施要領



大会マスコット
キャラクター
さぬぽん

開催期間：令和7年7月26日（土）～7月28日（月）

会場：香川大学・高松中央高校

目次

大会概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
記念講演講師紹介・・・・・・・・・・・・・・・・	4
審査委員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
大会役員一覧・諸会議・・・・・・・・・・・・・	6
式次第・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
発表・審査・表彰について・・・・・・・・・・	9
発表に関する留意事項・・・・・・・・・・・・・	10
全国高等学校総合文化祭自然科学部門 審査および表彰規程・・・・・・・・・・・・・	12
受付に関する留意事項、おもてなし弁当に関する留意事項、 救急体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
一般観覧について・・・・・・・・・・・・・・・・	14
発表校一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
発表プログラム・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
巡検研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
会場案内図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
周辺地図、問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・	52
緊急時の対応について・・・・・・・・・・・・・	53
個人情報の取り扱いについて・・・・・・・・・・	58

大会概要

香川大学 幸町キャンパス（7月26日・27日）

（所在地 〒760-8521 高松市幸町1-1 TEL 087-832-1000 FAX 087-832-1053）

【第1日目】7月26日(土) 12:00～18:00	
10:00～11:50	受付、ポスター掲示
～11:30	研究発表動作確認、弁当配付
12:00～12:40	開会式
13:00～18:00	研究発表・ポスター発表
【第2日目】7月27日(日) 9:00～18:30	
7:40～ 8:55	研究発表会場・ポスター発表会場への入室
9:00～12:00	研究発表・ポスター発表
11:00～13:00	弁当配付
12:45～18:30	巡検研修（開始・終了時刻はコースにより異なる）

内 容	会 場
参加者受付	研究交流棟1階 展示・多目的スペース
総合案内、弁当受取場所 来賓・一般・報道受付	北3号館313講義室
開会式	北4号館415講義室 ※代表生徒1名が入室
研究発表 物理分野	北6号館611講義室（A会場）、621講義室（B会場）
研究発表 化学分野	北3号館321講義室（A会場）、323講義室（B会場）
研究発表 生物分野	北4号館415講義室（A会場） 北3号館314講義室（B会場）
研究発表 地学分野	北4号館411講義室（A会場）、412講義室（B会場）
ポスター発表	オーブスクエア 多目的ホール（A会場） オーブスクエア 学習ラウンジ、大学会館 カフェテリア（B会場） ※開会式は北3号館331講義室
救護室	北5号館524講義室
大会本部	北5号館525講義室
参加者控室（荷物置場） ※7/27（日）13:30まで	物理・化学 北3号館322講義室 北4号館421講義室、422講義室、423講義室 生物・地学 北3号館311講義室、312講義室 北4号館413講義室、教授法演習室 ポスター 北3号館331講義室（開会式後～）
昼食会場	各研究発表会場、各参加者控室
更衣室 ※7/27(日)12:00～13:15	北4号館3階 男子：432講義室、女子：431講義室 ※巡検研修で更衣が必要な場合。荷物は置いておけません。
巡検バス集合場所 （コースにより異なる）	北キャンパス 大学本部前、南キャンパス 講堂前 ※バス出発時間・乗車場所は次々ページに記載しています。 会場案内図と合わせてご確認ください。

※香川大学の生協食堂・売店は利用できません。持ち込んだゴミはお持ち帰りください。

※香川大学内への駐車は一切できません。

高松中央高等学校（7月28日）

（所在地 〒760-0068 高松市松島町 1-14-8 TEL 087-831-1291 FAX 087-862-0290）

【第3日目】7月28日(月) 8:45～12:50	
8:00～8:40	入場開始、荷物預かり
8:45～9:45	生徒交流会・次年度開催県PR
10:05～11:20	記念講演
11:40～12:50	閉会式

内 容	会 場
総合案内 来賓・報道受付	体育館入り口 ※参加者受付はありません
荷物置場	本館1階 インターテラス
救護室	事務所棟1階 同窓会室
大会本部	事務所棟2階 小会議室
生徒交流会	体育館3階アリーナ
記念講演	
表彰式・閉会式	

※7月28日（月）はおもてなし弁当の配付はありません。

※控室、昼食会場はありません。持ち込んだゴミはお持ち帰りください。

※高松中央高等学校内への駐車は一切できません。

巡検研修

コース一覧

	コース名・巡検研修先
A	「小豆島のシンパク（国指定特別天然記念物）とオリーブから学ぶ地域振興」 宝生院（土庄町）、道の駅 小豆島オリーブ公園（小豆島町）
B	「『医療・理工の学びを体験してみよう！』徳島文理大学 新高松駅キャンパス」 徳島文理大学（高松市）〔 B-1：香川薬学部 ／ B-2：理工学部 〕
C	「『伝統的な醤油づくり & ハマチ養殖発祥の地で養殖』を体験！」 かめびし屋、体験学習館マーレリッコ（東かがわ市）
D	「五感で楽しむワクワク体験！チョウザメとイルカの生態観察ツアー」 東かがわ・つばさキャビアセンター（東かがわ市） 日本ドルフィンセンター（さぬき市）
E	「香川の身近な自然&源内先生足跡巡りとガーネット探し体験」 雨滝自然科学館、平賀源内記念館（さぬき市）
F	「望遠鏡を楽しもう！ ～天体望遠鏡博物館～」 みんなのちからでつくる博物館 天体望遠鏡博物館（さぬき市）
G	「瀬戸内海の生態系を学ぶ ～海洋調査のミニ体験～」 香川大学 瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション（高松市）
H	「ケミカルキャッチャー“ハイドロタルサイト”の献身と瀬戸大橋建設の歴史」 セトラスホールディングス株式会社、瀬戸大橋記念公園（坂出市）

I	「こんぴらさんの巨木を訪ねる」 金刀比羅宮、金陵の郷（琴平町）
J	「多度津高校『ミニ水族館』と遠洋航海実習船『翔洋丸』の見学」 香川県立多度津高等学校 ミニ水族館・遠洋航海実習船「翔洋丸」（多度津町）
K	「国内随一の種類数を誇るワクチンの製造！」 一般財団法人 阪大微生物病研究会（観音寺市）
L	「スキルスラボでプチ医学体験、やってみよう！」 香川大学 医学部（三木町）
M	「農学が未来を創る ～来て見て触って香川大学農学部体験～」 香川大学 農学部・希少糖生産ステーション（三木町）
N	「最先端技術で変わる日常！情報通信とメカトロニクスの未来」 香川大学 創造工学部（高松市）
O	「瀬戸内海国立公園の絶景と、香川県が世界に誇る『庵治石』の産地を訪ねる」 やしまーる、五剣山 庵治石丁場(石切場)、石材加工工場（高松市）
P	「平らな屋島と峰の並ぶ五剣山の違いを遍路道を歩いて解明しよう！」 八栗寺参道、高松市 石の民俗資料館（高松市）
Q	「高松帝酸株式会社 工場見学 ～産業用ガスを使った実験 & 水素社会体験～」 高松帝酸株式会社（高松市）
R	「米と小麦の科学 ～酒造り・化粧品作り・讃岐うどん用小麦開発～」 勇心酒造株式会社、香川県農業試験場（綾川町）
S	「見て 触って 歩いて 聴いて♪ サヌカイトを五感で楽しもう！」 金山 けいの里（坂出市）
T	「みとよモリングの収穫・焙煎体験と天空の鏡『父母ヶ浜』散策」 株式会社MITOYO-MORINGA、父母ヶ浜（三豊市）

バス出発時間・乗車場所（バスは出発 15 分前に到着予定です）

12:45	A B コース	北キャンパス 大学本部前
13:00	C D コース	北キャンパス 大学本部前
13:00	E F G H I J K コース	南キャンパス 講堂前
13:30	L M コース	北キャンパス 大学本部前
13:30	N O P Q R S T コース	南キャンパス 講堂前

- ・時間厳守でお集まりください。集合に遅れると参加できない可能性があります。
- ・生徒のみでの参加はできません。必ず各校で引率をお願いします。
- ・更衣が必要なコース(G O P S コース)は 12:00 以降に更衣室を利用してください。
(北 4 号館 3 階 男子:432 講義室、女子:431 講義室)
- ・荷物は全て巡検研修にご持参ください。控室、更衣室に置いておくことはできません。

生徒交流会

全国から集まった皆さんが楽しく交流できる会を企画しています。生徒実行委員の私たちも、皆さんと交流できることを心待ちにしています。記憶に残る楽しい交流会にしましょう！

記念講演講師紹介

日 時 令和7年7月28日(月) 10:05～11:20

会 場 高松中央高等学校 体育館3階アリーナ

講 師 長谷川 修一 氏

演 題 「大地の成り立ちから地域を深掘りしてみよう！」



【講師プロフィール】

香川大学 特任教授・名誉教授

四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長

1955年、島根県松江市生まれ。1978年東京大学理学部地質学鉱物学科卒業。1980年東京大学大学院理学系研究科修士課程（地質学専門課程）修了。理学博士。専門は、応用地質学、地盤災害、地域防災、ジオパーク。2000年に四国電力株式会社を退職し、香川大学工学部助教授に就任。2002年から香川大学工学部教授、2017年に香川大学の最後の工学部長、2018年に香川大学の初代創造工学部長、2021年4月から名誉教授および現職。2014年～2016年に日本応用地質学会会長。2017年と2022年にNHK総合テレビ「ブラタモリ」に出演し、案内人として香川県の魅力を大地の成り立ちから解き明かした。研究活動のほか、防災まち歩き「ブラハセ」を県内で実施し、地域の防災・減災活動に取り組んでいる。また、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会委員長として、香川県全域のユネスコ世界ジオパーク認定を目指して活動している。

【高校生へのメッセージ】

私は、小さいときから石や土が好きでした。なぜ赤い土や黒い土があるのか、またなぜ場所によって石が違うのか不思議でした。その不思議を知りたくて大学で地質学を勉強し、社会人になってから発電所などを建設するための地質調査で飯を食べていました。そうすると、大地の成り立ちによって工事の難易が違ふこと、また発生する災害が異なることを知りました。大地の成り立ちが見えてくると、その土地の災害だけでなく、名産や食文化（讃岐うどん）も大地の成り立ちと関係していることに気がつきます。そうするとそれぞれの地域が、世界で唯一無二の価値を持っているように見えてきます。

自然は不思議だらけです。まずはスマホに頼らず、五感と頭を使って自然を観察して、不思議を発見しませんか！そうすると次々と疑問がわいてきます。スマホに聞く前に自分なりに仮説を考えてみましょう！きっと、世界がこれまでと違ってみえるでしょう！

審査委員紹介

審査区分		氏 名	所属・役職
研究発表	物理分野	高橋 尚志	香川大学 教授
		鶴町 徳昭	香川大学 教授
		岡田 友良	香川県立高松商業高等学校 教頭
		菊井 浩之	香川県立高松西高等学校 主幹教諭
	化学分野	高木由美子	香川大学 教授 ※審査委員長
		川浪 康弘	香川大学 名誉教授
		水兼 博士	(元) 香川県立琴平高等学校 校長
		大社 健治	香川県立高松工芸高等学校 教頭
	生物分野	篠原 渉	香川大学 教授
		松本 由樹	香川大学 准教授
		泉谷 俊郎	東かがわ市教育委員会事務局教育連携コーディネーター (元) 香川県立三本松高等学校 校長
		土井 淳史	香川県教育センター 主任指導主事
	地学分野	寺林 優	香川大学 教授 香川大学博物館 館長
		金田 義行	香川大学 特任教授
		糸目 真也	高松大学 准教授 (元) 香川県立高松桜井高等学校 校長
		秋山 文孝	香川県教育会館 ミューズホール 事務局長 (元) 香川県立高松桜井高等学校 校長
ポスター発表		笠 潤平	香川大学 名誉教授
		石井 知彦	香川大学 教授
		伊藤 文紀	香川大学 教授
		川村 教一	兵庫県立大学 教授
		前田 学	石川県立小松高等学校 教諭
		棚村 好彦	山形県立山形東高等学校 教諭
		岩 義博	(元) 島根県立島根中央高等学校 教諭
		荒川 忠彦	甲南大学 非常勤講師 (元) 滋賀県立膳所高等学校 教諭

大会役員一覧・諸会議

【大会役員一覧】

公益社団法人全国高等学校文化連盟正会員 高等学校文化連盟全国自然科学専門部

部会長	山田島崇文	鹿児島県立錦江湾高等学校 校長 (第49回全国高等学校総合文化祭自然科学部門委員長)
副部会長	大熊 百恵	香川県立高松桜井高等学校 校長
副部会長	下橋 実	秋田県立角館高等学校 校長
副部会長	島崎 康一	石川県立穴水高等学校 校長
副部会長	佐藤 尚史	岐阜県立岐南工業高等学校 校長
事務局長	大迫 武治	鹿児島県立錦江湾高等学校 教諭

第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会自然科学部門委員会

委員長	大熊 百恵	香川県立高松桜井高等学校 校長
副委員長	筒井 美貴	香川県立津田高等学校 教頭
副委員長	佐藤 哲也	香川県立三木高等学校 教頭
代表委員	石井 泰史	香川県立高松西高等学校 教諭

【諸会議】

常任理事会

日時 令和7年7月25日(金) 15:00～17:00

場所 香川大学 幸町キャンパス 北5号館2階526講義室

理事会・総会

日時 令和7年7月28日(月) 9:00～11:20

場所 高松中央高等学校 事務所棟3階 大会議室

式次第

【開会式】

日時 令和7年7月26日(土) 12:00～12:40

場所 香川大学（幸町キャンパス）北4号館415講義室

式次第	担 当
1 開会宣言	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 生徒自然科学部門委員会 竹之内 智登
2 高等学校文化連盟 全国自然科学専門部会長 挨拶	山田島 崇文 (鹿児島県立錦江湾高等学校 校長)
3 歓迎の言葉	国立大学法人 香川大学 学長 上田 夏生 高松市長 大西 秀人
4 第49回全国高等学校総合文化祭 香川県実行委員会生徒自然科学 部門委員会委員長 挨拶	大場 美空 (香川県立丸亀高等学校)
5 来賓・審査委員紹介	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 生徒自然科学部門委員会 西岡 海沙樹
6 閉会宣言	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 生徒自然科学部門委員会 竹之内 智登

【開会式に関する留意事項】

- ・開会式会場（北4号館415講義室）には、発表ごとに代表生徒1名のみ入場となります。
あらかじめ、代表生徒を決めておいてください。ただし、研究発表の生物A会場の方は開
会式会場（北4号館415講義室）に全員入場してください。
- ・代表以外の生徒、引率者は配信会場での視聴となります。

参加区分	配信会場
研究発表 物理分野	北6号館611講義室（A会場）、621講義室（B会場）
研究発表 化学分野	北3号館321講義室（A会場）、323講義室（B会場）
研究発表 生物分野	北4号館415講義室（A会場）※開会式会場 北3号館314講義室（B会場）
研究発表 地学分野	北4号館411講義室（A会場）、412講義室（B会場）
ポスター発表	北3号館331講義室

- ・開会式会場内では、誘導係の生徒の指示に従い指定された座席に着席してください。
- ・開会式終了後、代表生徒は誘導係の指示に従い各配信会場へ移動します。

【表彰式・閉会式】

日時 令和7年7月28日(月) 11:40～12:50

場所 高松中央高等学校 アリーナ

式次第	担 当
1 開会宣言	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 生徒自然科学部門委員会 西岡 海沙樹
2 審査結果発表	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 自然科学部門委員会 代表委員 石井 泰史
3 表彰	山田島 崇文 (鹿児島県立錦江湾高等学校 校長) 他
4 講評	審査委員長 高木 由美子 (香川大学 教授)
5 高等学校文化連盟 全国自然科学専門部会長 挨拶	山田島 崇文 (鹿児島県立錦江湾高等学校 校長)
6 第49回全国高等学校総合文化祭 香川県実行委員会自然科学部門 委員会委員長 挨拶	大熊 百恵 (香川県立高松桜井高等学校 校長)
7 第49回全国高等学校総合文化祭 香川県実行委員会生徒自然科学 部門委員会委員長 挨拶	大場 美空 (香川県立丸亀高等学校)
8 閉会宣言	第49回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会 生徒自然科学部門委員会 西岡 海沙樹

- ・閉会式会場内では、誘導係の生徒の指示に従い、生徒は指定された座席に着席してください。引率の先生方は後方の教員席に自由にお座りください。

発表・審査・表彰について

1 出場人数

- ・ 発表1件につき、2名以内とします。

2 研究発表の注意事項

- ・ 発表者は、PC操作等を含め2名以内です。
- ・ 発表時間は10分以内です。質疑応答は4分以内とします。
- ・ 計時は、司会が「〇〇高校の皆さん、よろしくお願いします」と発言したところから始まります。計時の終了は、発表時間が終わった時点（参考文献・謝辞等も含む）とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。8分経過後にベルを1回鳴らします。10分経過後にベルを2回鳴らしますので速やかに発表を終了してください。14分経過後にベルを3回鳴らし、質問の有無にかかわらず中止とします。
- ・ 発表終了後、質疑応答となりますが、質問は生徒と審査委員に限ります。

3 ポスター発表時の注意事項

- ・ 審査は1つの研究につき2回を予定しています。1回目の審査は、1つの研究について概ね8分程度で行います。4分以内のプレゼン後、4分程度の質疑応答とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。4分経過後にベルを2回鳴らしますので、速やかに発表を終了してください。その後、質疑応答開始から4分後にベルが鳴ったら終了です。
- ・ 2回目の審査は、最初の1分で研究の概略説明、残り3分で質疑応答とします。
- ・ 会場は火気厳禁です。また、危険物並びに生きた動植物の持ち込みも原則禁止です。
- ・ ポスター発表については、参加校が投票を行い、この結果をポスター発表審査の平均点に加点します。受付で配付した投票用紙に7月27日（日）11:00までに記入し、投票箱に入れてください。なお、自分の学校には投票できません。

4 審査および表彰に関して

- ・ 全国高等学校総合文化祭自然科学部門審査規程により、審査を行います。
- ・ 未加盟県からの発表はオープン参加とし、審査の対象としません。
- ・ 審査委員会で協議の上、下記のとおり表彰します。

〈研究発表〉

・ 文部科学大臣賞（最優秀賞）	各分野1件	賞状・盾
・ 文化庁長官賞（優秀賞）	各分野2件	賞状・盾
・ 奨励賞	各分野5件	賞状

〈ポスター発表〉

・ 文部科学大臣賞（最優秀賞）	1件	賞状・盾
・ 文化庁長官賞（優秀賞）	2件	賞状・盾
・ 奨励賞	5件	賞状

発表に関する留意事項

I 研究発表の留意事項

- (1) 発表は、物理、化学、生物、地学の分野ごとの分科会形式で行います。
- (2) 発表者は、パソコン操作等を含め2名以内です。
- (3) 発表時間は10分以内とし、4分程度の質疑応答を行います。なお、質問は生徒と審査員に限ります。
- (4) 計時は、司会が「〇〇高校の皆さん、よろしくお願いします」と発言したところから始めます。計時の終了は、発表時間が終わった時点（参考文献・謝辞等も含む）とします。計時の開始時にベルを1回鳴らします。8分経過後にベルを1回鳴らします。10分経過後にベルを2回鳴らしますので速やかに発表を終了してください。14分経過後にベルを3回鳴らし、質問の有無にかかわらず中止とします。
- (5) 発表は日本語でお願いします。（英語等外国語は不可）
- (6) 原則として、各チームが持参したノートPC（またはタブレットPC等）を会場のプロジェクターにHDMI端子で接続します。画面比は16：9を推奨します。
- (7) 大会事務局が準備したノートPC（Windows11、PowerPoint2021仕様）を利用することも可能です（申込書様式3「部門事務局への連絡事項等」に記載）。当日持参したPCが不具合等の場合に利用することも可能です。ただし、動画等の動作の保証はできません。また、光学ドライブ無しの仕様です。USBでデータをご持参ください。ファイル名は「都道府県番号(半角)都道府県名・学校名・発表区分・分野」（例：37 香川・讃岐・研究・物理）としてください。
- (8) 大会初日（7月26日）の10:00～11:30に動作確認の時間を設けます。各会場で接続を行ってください。（先着順）
- (9) 他校の発表をカメラやビデオ等で撮影したものについては、研修等での使用に限定し、インターネットやSNS等へのアップロードは禁止します。
- (10) 論文集をPDFで参加校に配付します。大会公式ホームページからダウンロードしてください。冊子での配付はありません。パスワードは参加校に御連絡いたします。また、大会後は、ダウンロードできなくなりますので御注意ください。著作権を侵害する恐れのある画像等は使用しないでください。ダウンロードした論文PDFは関係者以外へは転送しないでください。
- (11) 発表論文をA4両面印刷で50部持参し、発表会場の指定の場所に置いてください。

2 ポスター発表の留意事項

- (1) 発表者は2名以内です。
- (2) 1つの研究について2回審査を行います。1回目の審査は、4分以内のプレゼンテーションの後、4分程度の質疑応答を行います。計時の開始時にベルを1回鳴らします。4分経過後にベルを2回鳴らしますので、速やかに発表を終了してください。その後、質疑応答開始から4分後にベルが鳴ったら終了です。2回目の審査は、1分以内のプレゼンテーション（概略説明）の後、3分程度の質疑応答とします。
- (3) 発表は日本語でお願いします。（英語等外国語による発表は不可）
- (4) 高さ120cm、幅180cm内に画鋏でポスターを掲示します。テープは使用できません。また、ポスター周辺に（既定の大きさを超える）装飾はできません。
- (5) 長机1脚を使用しての補助的な展示も可能です。机の大きさはグループによって異なり、2脚を並べて使用する場合もあります。もし展示に不都合があれば申し出てください。
なお、電源は使用できません。
- (6) 危険物、火気、生きた動植物の持ち込みは禁止とします。
- (7) 発表時間は、7月26日(土)13:20～17:47、および27日(日)9:10～11:52です。
- (8) 自校の3つ前の発表が審査を行うときから、自校のポスターの前に待機してください。
- (9) 休憩は適宜行ってください。その際、備え付けの『休憩中』の標示物を掲示してください。
- (10) 他校の発表やポスター等をカメラやビデオ等で撮影したものについては、研修等での使用に限定し、インターネットやSNS等へのアップロードは禁止します。
- (11) 論文集をPDFで参加校に配付します。大会公式ホームページからダウンロードしてください。冊子での配付はありません。パスワードは参加校に御連絡いたします。また、大会後は、ダウンロードできなくなりますので御注意ください。著作権を侵害する恐れのある画像等は使用しないでください。ダウンロードした論文PDFは関係者以外へは転送しないでください。
- (12) 発表論文をA4両面印刷で50部持参し、ポスター掲示用パネル前の机に置いてください。

全国高等学校総合文化祭自然科学部門審査および表彰規程

Ⅰ 研究発表

- (1) 研究発表は、制限時間内に研究内容・研究成果を、プレゼンテーションソフト等を用いて聴衆に説明する。その後、質疑応答を行う。
- (2) 審査は、次のⅠ、Ⅱにより行い、評価項目等は別に定め、総合的に評価する。
 - Ⅰ. 発表前に提出された研究発表論文による事前審査（計10点）
 - α. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）
 - β. 調査・研究の手段に創意工夫がなされ、結果の処理などが適切であるか。（5点）
 - Ⅱ. 発表会場における当日審査（計30点）
 - α. 発表の手段や方法は適切であるか。（10点）
 - β. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）
 - γ. 発表の態度や質疑応答の回答は適切であるか。（10点）
- (3) 研究発表論文はA4 2ページとし、書式等は別に定める。
- (4) 審査委員一人あたり、事前審査10点、当日審査30点、合計40点を満点とする。各審査委員の得点の平均点を算出し、最終得点とする。
- (5) 順位・受賞発表は、審査委員それぞれの得点の平均点をもとにして、審査委員会で決定する。

2 ポスター発表

- (1) ポスター発表は、研究内容・研究成果を高さ120cm×幅180cm内に展示し、プレゼンテーションを行って来場者にこれを説明し、質疑応答や意見交換を行う。
- (2) 審査は、次のⅠ、Ⅱにより行い、評価項目等は別に定め、総合的に評価する。
 - Ⅰ. 発表前に提出されたポスター発表論文による事前審査（計10点）
 - α. 発表論文のまとめ方は適切であるか。（5点）
 - β. 調査・研究の手段に創意工夫がなされ、結果の処理などが適切であるか。（5点）
 - Ⅱ. 発表会場における当日審査（計30点）
 - α. ポスターのレイアウトや説明は適切であるか。（10点）
 - β. 調査・研究の結果に基づいた推論が出されているか。（10点）
 - γ. 発表の態度や質疑応答の回答は適切であるか。（10点）
- (3) ポスター発表論文はA4 2ページとし、書式等は別に定める。
- (4) 審査委員一人あたり、事前審査10点、当日審査30点、合計40点を満点とする。
- (5) 各審査委員の得点の平均点を算出する。
- (6) 参加校からの投票を行い、その結果を（5）の平均点に加点し最終得点とする。
なお、この投票方式及び加点幅については、別に定める。

3 表彰

- (1) 順位・受賞発表は、最終得点をもとにして、協議により審査委員会で決定する。
- (2) 物理・化学・生物・地学の各4分野の研究発表およびポスター発表の計5つにおいて、最上位を最優秀賞とする。2～3位に該当する2件を優秀賞とする。4～8位に該当する5件を奨励賞とする。
- (3) 最優秀賞を文部科学大臣賞とする。優秀賞を文化庁長官賞とする。

参加者受付に関する留意事項

< 7月26日(土) >

- ・参加者受付は研究交流棟1階の展示・多目的スペースに設置します。
- ・受付は学校毎に行います。引率者の先生1名のみお越しください。同じ学校で複数出場する場合もまとめて受付します。
- ・受付でID(ネームホルダー)と資料を配付します。大会期間中は常にIDの着用をお願いします。各発表会場、控室への入場時にIDを確認いたします。
- ・受付終了後、研究発表の参加者は各会場へ行き、動作確認(接続確認)を行ってください。また、ポスター発表の参加者は、会場でポスターの貼付と展示物の設置を行ってください。
- ・スーツケースなどの大きな荷物は控室に置いてください。研究発表の分野ごと、ポスター発表で別になっています。貴重品の管理は各自でお願いします。

< 7月27日(日) >

- ・参加者受付はありません。各発表会場、控室への入場時にIDを確認いたします。

< 7月28日(月) >

- ・本館入口でスリッパに履き替えて体育館に入場します。入場時にIDを確認いたします。
- ・スーツケースなどの大きな荷物は、本館1階のインターテラスでお預かりします。係の案内にしたがってください。控室、昼食会場はありません。

おもてなし弁当に関する留意事項

おもてなし弁当は7月26日(土)と27日(日)に準備します。宿泊サポートセンターを通してお申込みいただいた学校は、当日にお受け取りください。

日時：7月26日(土) 10:00~11:30

7月27日(日) 11:00~13:00

※7月28日(月) おもてなし弁当の手配はありません。

場所：香川大学 幸町キャンパス 北3号館1階313講義室

- ・学校単位で受け取りをお願いします。
- ・昼食会場は各研究発表会場(発表開始前・終了後)、控室です。
- ・香川大学の生協食堂、売店は利用できません。

- ・食べ終わった弁当箱は313講義室で回収します。
- ・必ず13時30分までに返却してください。
- ・各自が持ち込んだゴミはお持ち帰りください。

救急体制

大会期間中に体調等が悪くなった場合は、近くの運営スタッフ(職員・生徒を問いません)にお声がけください。救護室は、7/26(土)、27日(日)は香川大学 幸町キャンパス北5号館2階524講義室です。7/28(月)は高松中央高等学校 事務所棟1階 同窓会室です。必要に応じて病院等を紹介いたします。

一般観覧の事前申込について

自然科学部門の一般観覧を希望される方については、事前申込とさせていただきます。

7月26日（土）・27日（日）については、一般の方々も観覧いただけます。一般観覧を希望される方は、右のQRコード（URLはこちら https://docs.google.com/forms/d/1lgYbhYBqk9eI7fW3RWslsGBJz-8aaaBeDriu-y0nkak/viewform?edit_requested=true）から、6月14日（土）午前10時～7月14日（月）午後5時までの期間で申込をお願いいたします。（この期間に申込いただけなかった方については7月26日・27日の観覧はできません）その際、下記の項目について御入力をお願いいたします。



（1回の申込で5人まで入力可能）

- ・ 都道府県、氏名、ふりがな
- ・ 性別、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス
- ・ 観覧希望日程（7月26日、7月27日）

事前申込をいただいた方には、一般受付にてI Dを発行します。各研究発表・ポスター発表会場の入り口でI Dを提示して御入場ください（I Dのない方は入場できません）。

【I D発行日時・場所】

7月26日（土）10:00 ～ 17:00 一般受付（北3号館 313号講義室）

7月27日（日） 7:40 ～ 11:00 一般受付（北3号館 313号講義室）

【留意事項】

- ・ 御提供いただいた個人情報は、かがわ総文祭2025総合開会式 一般観覧者申込約款 第8条（事務局は、申込みの際に得た個人情報を、参加者の決定、メールの送付、チケットの発送、運営における参加者の本人確認、会場警備のための警察及び警備関係者への情報提供、開会式の運営及び管理のためにのみ利用します。）に基づいて利用します。
また、肖像権の取り扱いについては、同 第9条（開会式観覧に参加した場合、報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び実行委員会ホームページ等で公開されることがあります。2 開会式観覧に参加した場合、報道機関等によって撮影された映像が中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。）と同様の取り扱いとなります。
- ・ 各研究発表会場の座席には限りがあります。
- ・ 7月26日（土）の開会式は、メイン会場（415講義室）への入場はできません。
他の研究発表会場でオンライン配信にて御観覧ください。
- ・ 7月27日（日）午後の巡検研修については、一般観覧の方々は参加できません。
- ・ 7月28日（月）高松中央高等学校への入場は一切できません。
- ・ 香川大学内、高松中央高等学校内への駐車は一切できません。
- ・ 香川大学および高松中央高等学校への直接の問い合わせはご遠慮ください。

発表校一覧

区分 都道府県	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表	ポスター発表
	物理分野	化学分野	生物分野	地学分野	
北海道	北海道札幌啓成高等学校	北海道函館中部高等学校	函館大学付属柏稜高等学校	北海道釧路明輝高等学校	市立札幌旭丘高等学校
青森県	青森県立八戸高等学校	青森県立八戸高等学校	青森県立三本木高等学校	青森県立青森高等学校	青森県立大湊高等学校
岩手県		岩手県立盛岡第三高等学校			岩手県立盛岡第一高等学校
宮城県	宮城県仙台第一高等学校	宮城県仙台第二高等学校	宮城県古川黎明高等学校	宮城県仙台第三高等学校	宮城県古川黎明高等学校
秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	秋田県立秋田高等学校	秋田県立秋田高等学校	秋田県立秋田高等学校	秋田県立秋田南高等学校
山形県	山形県立山形東高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校	山形県立東校学館高等学校	山形県立致道館高等学校	山形県立米沢興譲館高等学校
福島県	福島県立安積高等学校	福島県立磐城高等学校	福島県立福島高等学校	福島県立会津学鳳高等学校	福島県立会津学鳳高等学校
茨城県	茨城県立日立第一高等学校	茨城県立日立北高等学校	茨城県立並木中等教育学校	茨城県立日立第一高等学校	茨城県立日立第一高等学校
栃木県	栃木県立大田原高等学校	栃木県立黒磯高等学校	栃木県立佐野高等学校	栃木県立鹿沼東高等学校	栃木県立日光明峰高等学校
群馬県	群馬県立桐生高等学校	群馬県立太田女子高等学校	群馬県立前橋女子高等学校	群馬県立前橋女子高等学校	群馬県立中央中等教育学校
埼玉県	埼玉県立熊谷西高等学校	立教新座高等学校	埼玉県立松山高等学校	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	埼玉県立川越高等学校
千葉県	千葉市立千葉高等学校	千葉県立長狹高等学校	千葉県立検見川高等学校	千葉県立佐倉高等学校	千葉県立長狹高等学校
東京都	東京都立科学技術高等学校	立教池袋高等学校	東京都立立川高等学校	東京都立富士高等学校	安田学園高等学校
神奈川県	川崎市立川崎高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校	神奈川県立小田原高等学校	神奈川県立多摩高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校
新潟県	新潟県立新潟高等学校	新潟県立新発田高等学校	新潟県訓高等学校	新潟県立長岡大手高等学校	新潟県立海洋高等学校
富山県	高岡向陵高等学校	富山第一高等学校	富山第一高等学校	高岡龍谷高等学校	富山県立砺波高等学校
石川県	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校	石川県立七尾高等学校
山梨県	北杜市立甲陵高等学校	山梨県立甲府南高等学校	山梨県立笛吹高等学校	山梨県立日川高等学校	山梨県立甲府南高等学校
長野県	長野県木曽青峰高等学校	長野県上田高等学校	長野県飯山高等学校	長野県飯山高等学校	長野県松本県ヶ丘高等学校
岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	岐阜県立岐阜高等学校	岐阜県立大垣北高等学校	岐阜県立大垣北高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
静岡県	静岡県立三島北高等学校	浜松日体高等学校	静岡県立磐田南高等学校	静岡県立磐田南高等学校	静岡県立清水東高等学校
愛知県	名古屋市立向陽高等学校		愛知県立岡崎北高等学校		名古屋高等学校
滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	滋賀県立彦根東高等学校	滋賀県立河瀬高等学校	滋賀県立米原高等学校	滋賀県立彦根東高等学校
京都府	京都市立京都工学院高等学校	京都市立堀川高等学校	京都市立堀川高等学校	京都市立堀川高等学校	京都市立京都工学院高等学校
兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	兵庫県立宝塚北高等学校	兵庫県立明石北高等学校	兵庫県立西脇高等学校	兵庫県立神戸高等学校
和歌山県	私立開智中学校・高等学校	和歌山県立橋本高等学校	智辯学園和歌山高等学校	近畿大学附属和歌山高等学校	智辯学園和歌山高等学校
鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	鳥取県立米子工業高等学校	鳥取県立鳥取東高校学校		鳥取県立鳥取西高等学校
島根県	島根県立出雲高等学校	島根県立松江東高等学校	島根県立益田高等学校		島根県立松江北高等学校
広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	広島県立広島高等学校	広島県立西条農業高等学校	広島大学附属高等学校	広島県立大門高等学校
山口県	山口県立宇部高等学校	山口県立徳山高等学校	学校法人山口高川学園高川学園高等学校	山口県立徳山高等学校	山口県立下関西高等学校
徳島県		徳島県立富岡東高等学校	徳島県立城南高等学校	徳島県立富岡西高等学校	徳島県立脇町高等学校
香川県	高松第一高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立観音寺第一高等学校	高松第一高等学校	香川県立観音寺第一高等学校
	高松第一高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立観音寺第一高等学校	高松第一高等学校	香川県立観音寺第一高等学校
	高松第一高等学校	香川県立観音寺第一高等学校	高松第一高等学校	香川県立三本松高等学校	香川県立高瀬高等学校
	高松第一高等学校	高松第一高等学校	香川県立高松桜井高等学校		香川県立観音寺第一高等学校
	香川県立三本松高等学校	高松第一高等学校	香川県立三本松高等学校		香川県立高松桜井高等学校
愛媛県	清美平成中等教育学校	愛媛県立西条高等学校	愛媛大学附属高等学校	愛媛県立松山西中等教育学校	愛媛県立松山南高等学校
高知県	高知県立高知国際高等学校	土佐女子高等学校	高知学芸高等学校	土佐塾高等学校	土佐女子高等学校
福岡県	福岡県立宗像高等学校	福岡県立明善高等学校	福岡県立東筑高等学校	福岡工業大学附属城東高等学校	福岡県立修猷館高等学校
佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	佐賀県立佐賀西高等学校	佐賀県立致遠館高等学校	佐賀県立佐賀西高等学校	佐賀県立佐賀西高等学校
長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	長崎県立長崎西高等学校	長崎県立長崎南高等学校	長崎県立長崎南高等学校	長崎県立長崎北陽台高等学校
熊本県	熊本県立熊本高等学校	熊本県立済々黌高等学校	熊本学園大学付属高等学校	熊本県立宇土高等学校	熊本県立済々黌高等学校
大分県	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分上野丘高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校	大分県立中津南高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校	宮崎県立宮崎西高等学校
鹿児島県	鹿児島県立大島高等学校	鹿児島県立国分高等学校	鹿児島県立錦江湾高等学校	池田学園池田高等学校	鹿児島県立錦江湾高等学校
沖縄県	沖縄県立豊見城高等学校	沖縄県立名護高等学校	沖縄県立辺土名高等学校	沖縄県立那覇国際高等学校	沖縄県立北山高等学校
発表件数	44件	45件	45件	40件	46件

発表プログラム

研究発表	物理分野 A会場（北6号館1階611講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物A01	13:20 ～ 13:34	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	災害時に役立つスマホ用リフレクターの研究
物A02	13:36 ～ 13:50	愛知県	名古屋市立向陽高等学校	科学部	滑空する水ロケットの開発 ～飛距離向上を目指して～
物A03	13:52 ～ 14:06	沖縄県	沖縄県立豊見城高等学校	科学クラブ	ばねを利用した電磁誘導による誘導起電力とばねの伸縮との量的な関係について
物A04	14:08 ～ 14:22	北海道	北海道札幌啓成高等学校	科学部	レイケ管の加熱部の条件と倍音の関係
休憩（14:22～14:37）					
物A05	14:37 ～ 14:51	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	数理科学部	磁石とグループダイナミクス
物A06	14:53 ～ 15:07	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	大垣北高校のピロティで発生するフラッターエコーについて
物A07	15:09 ～ 15:23	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	n枚目のティッシュペーパーを引き出す力
物A08	15:25 ～ 15:39	山形県	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	回折スパイクと恒星の関係を探ろう！
休憩（15:39～15:54）					
物A09	15:54 ～ 16:08	京都府	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	電気化学測定をもっと安くもっと早く簡単に！ ～インピーダンスの高速測定とその解析～
物A10	16:10 ～ 16:24	福島県	福島県立安積高等学校	物理部	なぜスマホは画面を下にして落ちるのかⅡ
物A11	16:26 ～ 16:40	富山県	高岡向陵高等学校	自然科学部	干渉光のスペクトル分析によるニッケルメッキの膜厚推定
物A12	16:42 ～ 16:56	静岡県	静岡県立三島北高等学校	科学部	ムベンバ効果のメカニズム解明における冷却方式と水の性質の影響
休憩（16:56～17:11）					
物A13	17:11 ～ 17:25	山梨県	北杜市立甲陵高等学校	科学部	パルス磁場中における強磁性体の運動の規則性
物A14	17:27 ～ 17:41	熊本県	熊本県立熊本高等学校	物理部	LEDによる音の伝送の研究
物A15	17:43 ～ 17:57	秋田県	秋田県立大館鳳鳴高等学校	物理部	滑らない形とは？
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物A16	9:15 ～ 9:29	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	毎日の食卓を便利に！シンプルなふりかけ容器の考察
物A17	9:31 ～ 9:45	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	物理部	ドミノ倒しの規則性と考察Ⅱ
物A18	9:47 ～ 10:01	山口県	山口県立宇部高等学校	科学部	スリンキーの力学特性と規則的な段差移動に関する研究
物A19	10:03 ～ 10:17	新潟県	新潟県立新潟高等学校	物理	効果的な防砂ネットの活用
休憩（10:17～10:32）					
物A20	10:32 ～ 10:46	宮城県	宮城県仙台第一高等学校	物理部	美しく舞う紙吹雪の研究
物A21	10:48 ～ 11:02	鳥取県	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	開口端補正を左右する要因についての研究2 ～粘性のある液体を用いた場合～
物A22	11:04 ～ 11:18	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部	ブラジルナッツ効果に関する研究
諸連絡（11:18～11:25）					

研究発表	物理分野 B会場（北6号館2階621講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物B01	13:20 ～ 13:34	愛媛県	済美平成中等教育学校	自然科学部	甲殻類型ロボットの開発
物B02	13:36 ～ 13:50	兵庫県	兵庫県立姫路東高等学校	科学部物理系研究部	磁性流体の特性をラビリンス・パターンで解明
物B03	13:52 ～ 14:06	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	クラドニ図形の振動の詳細な測定
物B04	14:08 ～ 14:22	広島県	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部物理班	鉛直上向きに噴出された噴水の頂点の周期的な上下運動について
休憩（14:22～14:37）					
物B05	14:37 ～ 14:51	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	温度勾配を用いた超音波の屈折
物B06	14:53 ～ 15:07	群馬県	群馬県立桐生高等学校	物理部	ばねの単振動中に振り子運動が起こるのはなぜか？
物B07	15:09 ～ 15:23	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	電磁石を用いた免震について
物B08	15:25 ～ 15:39	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	模型ホバークラフトにおける流体の挙動が及ぼす運動の解明
休憩（15:39～15:54）					
物B09	15:54 ～ 16:08	高知県	高知県立高知国際高等学校	科学部	液体の粘度とミルククラウンの形成条件
物B10	16:10 ～ 16:24	鹿児島県	鹿児島県立大島高等学校	化学部	コーヒー表面を漂う湯気の出現条件
物B11	16:26 ～ 16:40	埼玉県	埼玉県立熊谷西高等学校	自然科学部	グリーンフラッシュの再現と発生条件の明確化
物B12	16:42 ～ 16:56	島根県	島根県立出雲高等学校	自然科学部	壁を登るロボットの研究
休憩（16:56～17:11）					
物B13	17:11 ～ 17:25	栃木県	栃木県立大田原高等学校	スーパーサイエンスクラブ	ペットボトルの動きを数式化しよう
物B14	17:27 ～ 17:41	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	響板の形状と音の増幅の関係について
物B15	17:43 ～ 17:57	長野県	長野県木曽青峰高等学校	自然科学同好会	デンプンと溶媒の混合物の物性に関する研究 ～高さと混合比による衝撃吸収性の変化～
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
物B16	9:15 ～ 9:29	神奈川県	川崎市立川崎高等学校	科学部	on固散浸 ～固体の上で繰り上げられる液体のドラマ～
物B17	9:31 ～ 9:45	福岡県	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	ブランコの研究
物B18	9:47 ～ 10:01	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	粘着テープにおける摩擦ルミネッセンスの発生条件について
物B19	10:03 ～ 10:17	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	非電力スピーカーの音が大きくなる原理の追求
休憩（10:17～10:32）					
物B20	10:32 ～ 10:46	千葉県	千葉市立千葉高等学校	物理化学部	目詰まりによる排水性能低下を改善したグレーチングの研究
物B21	10:48 ～ 11:02	和歌山県	私立開智中学校・高等学校	サイエンス部	導電性ゴムの電気抵抗
物B22	11:04 ～ 11:18	東京都	東京都立科学技術高等学校	科学研究部	超音速航空機に使用するウイングレットの開発
諸連絡（11:18～11:25）					

研究発表	化学分野 A会場（北3号館2階321講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化A01	13:20 ～ 13:34	広島県	広島県立広島高等学校	情報・科学部	実用的なエコカイロの改良 ～添加物を用いた酢酸ナトリウム水溶液の結晶化熱の研究～
化A02	13:36 ～ 13:50	福岡県	福岡県立明善高等学校	化学部	クロロフィル誘導体の合成及び増感色素としての性能比較
化A03	13:52 ～ 14:06	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	実験室で真珠はできるのか ～アラゴナイト結晶生成の最適化～
化A04	14:08 ～ 14:22	福島県	福島県立磐城高等学校	自然科学部	ペロブスカイト太陽電池の研究
休憩（14:22～14:37）					
化A05	14:37 ～ 14:51	鳥取県	鳥取県立米子工業高等学校	ものづくり同好会C	環境下におけるマイクロプラスチックについての洞察
化A06	14:53 ～ 15:07	長野県	長野県上田高等学校	化学班	二酸化チタンの光触媒活性測定法 ～光源検討と浅間火山灰の光触媒活性測定～
化A07	15:09 ～ 15:23	秋田県	秋田県立秋田高等学校	理数科化学班	ハイドロキシアパタイトの合成
化A08	15:25 ～ 15:39	千葉県	千葉県立長狭高等学校	科学部	水素イオンによるヨウ素時計反応の誘導時間への影響
休憩（15:39～15:54）					
化A09	15:54 ～ 16:08	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	インジゴカルミン水溶液のpH指示薬としての可能性をさぐる
化A10	16:10 ～ 16:24	富山県	富山第一高等学校	自然科学部	廃棄毛髪 の活用とその基礎的研究
化A11	16:26 ～ 16:40	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	植物によるトウシューズの消臭～ローズマリー、オリーブ、ニンジンを用いて～
化A12	16:42 ～ 16:56	神奈川県	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	自然生まれの安全たっぷり添加物 ～辛味食品を添えて～
休憩（16:56～17:11）					
化A13	17:11 ～ 17:25	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部化学班	プラスチックの紫外線による分解速度の高吸水性高分子を用いた予測
化A14	17:27 ～ 17:41	和歌山県	和歌山県立橋本高等学校	科学部	オキシドールの濃度測定方法について
化A15	17:43 ～ 17:57	鹿児島県	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	沸騰した純水にBTB溶液を加えると塩基性に！？
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化A16	9:15 ～ 9:29	岩手県	岩手県立盛岡第三高等学校	理数探究コース化学2班	パルスジェットエンジンのアナログ制御
化A17	9:31 ～ 9:45	愛媛県	愛媛県立西条高等学校	科学部（化学）	二酸化炭素を活用した食塩由来のセスキ炭酸ナトリウム化学合成
化A18	9:47 ～ 10:01	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	物質化学部	スライムで太陽電池の性能向上に挑戦！
化A19	10:03 ～ 10:17	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	化学部	ハゼロウの抽出法の最適化 ～熊本のハゼの未来を拓く～
休憩（10:17～10:32）					
化A20	10:32 ～ 10:46	群馬県	群馬県立太田女子高等学校	理科研究部	こんにゃくのゲル化メカニズムを利用したコンニャクグルコマンナン繊維の研究
化A21	10:48 ～ 11:02	北海道	北海道函館中部高等学校	科学部	身近な材料を用いた昆布からのアルギン酸の抽出
化A22	11:04 ～ 11:18	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	カゼイン樹脂に含まれる成分の検討
化A23	11:20 ～ 11:34	栃木県	栃木県立黒磯高等学校	科学部	時計反応を操ってリズムを再現しよう!!!
諸連絡（11:34～11:45）					

研究発表	化学分野 B会場（北3号館2階323講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化B01	13:20 ～ 13:34	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	イカから出る廃棄物（イカの甲）に含まれるキッチンを用いた生分解性プラスチックの開発
化B02	13:36 ～ 13:50	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部化学班	染色を用いたプラスチックの識別検討II
化B03	13:52 ～ 14:06	高知県	土佐女子高等学校	生物部	ごわごわ毛布をふわふわにアクリル繊維の柔軟化
化B04	14:08 ～ 14:22	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	尿素の散布量と融解した氷の質量の関係について
休憩（14:22～14:37）					
化B05	14:37 ～ 14:51	徳島県	徳島県立富岡東高等学校	化学研究部	植物性乳酸菌に関する燃料電池の試作について
化B06	14:53 ～ 15:07	青森県	青森県立八戸高等学校	自然科学部	尿素と塩化ナトリウムの混合結晶について
化B07	15:09 ～ 15:23	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	化学部	ゲーミング反応が低pH下で起こらない原因の推定
化B08	15:25 ～ 15:39	長崎県	長崎県立長崎西高等学校	長崎西高化学部	バイオコンクリートの磯焼けへの効果
休憩（15:39～15:54）					
化B09	15:54 ～ 16:08	新潟県	新潟県立新発田高等学校	自然科学部化学班	食品成分由来の生分解性フィルムの活用
化B10	16:10 ～ 16:24	東京都	立教池袋高等学校	科学部	鉄さびを用いた色素増感太陽電池の作製
化B11	16:26 ～ 16:40	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	セルロースの熱変色と「あぶり出し」の原因物質
化B12	16:42 ～ 16:56	茨城県	茨城県立日立北高等学校	科学部	泳ぐ人エイクラの運動IV ーゲル周囲の水溶液の流れの可視化ー
休憩（16:56～17:11）					
化B13	17:11 ～ 17:25	兵庫県	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	天然多糖類を用いた固体ダニエル二次電池の開発
化B14	17:27 ～ 17:41	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	電離平衡を用いたアミノ酸の定量
化B15	17:43 ～ 17:57	静岡県	浜松日体高等学校	科学研究部	藍の葉を活用したインジルビンの選択的合成
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
化B16	9:15 ～ 9:29	島根県	島根県立松江東高等学校	自然科学部	様々な糖を用いたカルメ焼きの作製法の検討 ー電子レンジによる高速昇温ー
化B17	9:31 ～ 9:45	宮城県	宮城県仙台第二高等学校	化学部	アセトアルデヒドによるフェーリング液の還元反応について ～緑色溶液の生成要因～
化B18	9:47 ～ 10:01	京都府	京都市立堀川高等学校	自然科学部	化学発光の速度と効率に関する研究
化B19	10:03 ～ 10:17	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	分子側鎖の絡み合いによって外部刺激なしで自己修復性を示すゲル
休憩（10:17～10:32）					
化B20	10:32 ～ 10:46	埼玉県	立教新座高等学校	自然科学クラブ	多摩川の微生物を利用した強力で持続可能な電池の研究
化B21	10:48 ～ 11:02	沖縄県	沖縄県立名護高等学校	生物・化学同好会	ホルストアマビコヤスデの紫外線蛍光物質の簡易解析
化B22	11:04 ～ 11:18	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	紙を原料にしたエネルギーの抽出 ～セルロースの効率的な分解を促進する触媒の分析～
諸連絡（11:18～11:25）					

研究発表	生物分野 A会場（北4号館1階415講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生A01	13:20 ～ 13:34	島根県	島根県立益田高等学校	自然科学部	カメムシの校舎侵入防止作戦
生A02	13:36 ～ 13:50	神奈川県	神奈川県立小田原高等学校	生物部	コガネムシ科甲虫類における起き直り行動
生A03	13:52 ～ 14:06	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	生物部	メダカの視覚について
生A04	14:08 ～ 14:22	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	ゼニゴケの成長に同種生物の存在は影響するか
休憩（14:22～14:37）					
生A05	14:37 ～ 14:51	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	挿し木に光が及ぼす影響 ～光波長とIAAの関係から探る～
生A06	14:53 ～ 15:07	鹿児島県	鹿児島県立錦江湾高等学校	SRシジミ班	ムラサキツバメを取り巻く生物たちの相互関係 ～シジミチョウとアリの随伴関係の起源を探る～
生A07	15:09 ～ 15:23	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	生物部	スギナに見られる蛍光成分IV
生A08	15:25 ～ 15:39	沖縄県	沖縄県立辺土名高等学校	サイエンス部	分断された小さな緑地はオキナワトカゲのユートピア ～大きな緑地はかえってデメリット？～
休憩（15:39～15:54）					
生A09	15:54 ～ 16:08	北海道	函館大学付属柏稜高等学校	理科研究部	北海道函館白尻産ダルスの雄性配偶体及び生活史
生A10	16:10 ～ 16:24	兵庫県	兵庫県立明石北高等学校	科学探究部生物班	ネビキグサの種子はなぜ発芽しないのか？ 有性生殖の過程から解明する種子発芽の謎
生A11	16:26 ～ 16:40	愛媛県	愛媛大学附属高等学校	理科部	絶滅が危惧されるタナゴ類の保全で見落とされているもの
生A12	16:42 ～ 16:56	宮城県	宮城県古川黎明高等学校	自然科学部	ユスリカ科二属の酸性泉への適応進化
休憩（16:56～17:11）					
生A13	17:11 ～ 17:25	香川県	香川県立高松桜井高等学校	理学部	管理された人工水域におけるカワバタモロコの生息域外保全の検証
生A14	17:27 ～ 17:41	新潟県	新潟明訓高等学校	生物部	新規の突然変異”パンダメダカ”の原因遺伝子はmpv17である
生A15	17:43 ～ 17:57	山形県	山形県立東桜学園高等学校	探究部	セイタカアワダチソウが持つ発芽・生長抑制物質の可能性
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:40入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生A16	9:15 ～ 9:29	京都府	京都市立堀川高等学校	自然科学部	マコデス ペトラ(Macodes Petola)の葉が輝く原理と意味
生A17	9:31 ～ 9:45	長野県	長野県飯山高等学校	自然科学部	光合成するボールMBRの開発～CO ₂ 削減に向けて～
生A18	9:47 ～ 10:01	東京都	東京都立立川高等学校	生物部	コイ科魚類が生息する河川環境について
生A19	10:03 ～ 10:17	大分県	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	キササゲ乾燥果実の抗細菌効果の検討
休憩（10:17～10:40）					
生A20	10:47 ～ 11:01	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	色・模様が昆虫に与える影響について
生A21	11:03 ～ 11:17	秋田県	秋田県立秋田高等学校	生物部	カテキン類と抗生物質
生A22	11:19 ～ 11:33	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	メダカは鏡に映った自分を「自分」と認識できるのか
諸連絡（11:33～11:45）					

研究発表	生物分野 B会場（北3号館1階314講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生B01	13:20 ～ 13:34	青森県	青森県立三本木高等学校	自然科学部	ニホンミツバチの習性
生B02	13:36 ～ 13:50	山梨県	山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	ヒガンバナ亜科植物を食害するハマオモトヨトウ幼虫の行動生態
生B03	13:52 ～ 14:06	山口県	学校法人山口高川学園 高川学園高等学校	科学部	山口県に生息するヒノビウス属2種の分布域とその環境変異
生B04	14:08 ～ 14:22	熊本県	熊本学園大学付属高等学校	サイエンス部	ニホンアカガエルの性分化はストレスホルモンの影響を受けるのか
休憩（14:22～14:37）					
生B05	14:37 ～ 14:51	富山県	富山第一高等学校	自然科学部	桐山管理歩道と猪根谷遊歩道の木本植物を対象としたライントランセクト調査
生B06	14:53 ～ 15:07	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	廃棄物を用いたエチレンの吸着とその活用
生B07	15:09 ～ 15:23	福岡県	福岡県立東筑高等学校	生物部	ハナムグリの羽ばたきの研究
生B08	15:25 ～ 15:39	埼玉県	埼玉県立松山高等学校	生物部	アメリカツノウズムシが忌避する刺激の選択
休憩（15:39～15:54）					
生B09	15:54 ～ 16:08	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	イシクラゲを用いたバイオエタノールの生成
生B10	16:10 ～ 16:24	広島県	広島県立西条農業高等学校	自然科学部	コオロギのフンの潜在的生物機能 ～フンに含まれる微生物の力で土壌改良材を開発～
生B11	16:26 ～ 16:40	佐賀県	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	クマリンのアレロパシー効果が植物に及ぼす影響～発芽抑制と根細胞の形態変化に注目して～
生B12	16:42 ～ 16:56	福島県	福島県立福島高等学校	スーパーサイエンス部	酵母が与えるメタン発酵への影響
休憩（16:56～17:11）					
生B13	17:11 ～ 17:25	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	学校での線虫飼育における餌と培地の代替
生B14	17:27 ～ 17:41	徳島県	徳島県立城南高等学校	科学部	オオカナダモの紅葉
生B15	17:43 ～ 17:57	千葉県	千葉県立検見川高等学校	生物同好会	ミールワームによる海岸ゴミの処理 ～プラスチックを食べるミールワームはゴムサンダルや化学繊維も食べるのか～
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
生B16	9:15 ～ 9:29	鳥取県	鳥取県立鳥取東高校学校	科学部	鳥取県千代川水系におけるテナガエビの調査報告
生B17	9:31 ～ 9:45	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	淡水ヒドラの再生における触手の変化
生B18	9:47 ～ 10:01	滋賀県	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	交替性転向反応と走光性 ～ワラジムシの行動について～
生B19	10:03 ～ 10:17	栃木県	栃木県立佐野高等学校	科学部	東京山椒魚の頭でっかち型の研究
休憩（10:17～10:32）					
生B20	10:32 ～ 10:46	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	ふるさと岐阜のオオサンショウウオを守る！～国産個体の生息地を交雑個体から取り戻すために～
生B21	10:48 ～ 11:02	高知県	高知学芸高等学校	理科部	2種のトンボのすみ分け調査Ⅱ ～シオカラトンボとオオシオカラトンボ～
生B22	11:04 ～ 11:18	長崎県	長崎県立長崎南高等学校	科学部	サクラの組織培養への挑戦 ～冬芽からの培養成功率の向上を目指して～
生B23	11:20 ～ 11:34	愛知県	愛知県立岡崎北高等学校	サイエンス部	甲虫目の外骨格における水で黒化する鱗状または毛状の構造とその生態学的意義
諸連絡（11:34～11:45）					

研究発表	地学分野 A会場（北4号館1階411講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地A01	13:20 ～ 13:34	大分県	大分県立中津南高等学校	科学部	三角州とは何か ～山国川小祝と琵琶湖から考える～
地A02	13:36 ～ 13:50	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	打ち水で涼しくするには
地A03	13:52 ～ 14:06	新潟県	新潟県立 長岡大手高等学校	自然科学部	”鬼の洗濯板”について
地A04	14:08 ～ 14:22	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	古第三紀の佐賀の姿に迫る！
休憩（14:22～14:37）					
地A05	14:37 ～ 14:51	神奈川県	神奈川県立多摩高等学校	地学部	微化石から探る上総層群飯室層堆積時の環境
地A06	14:53 ～ 15:07	宮城県	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部地学班	氷と塩からみえたエウロパの世界 ～カオス地形の形成メカニズムの解明～
地A07	15:09 ～ 15:23	熊本県	熊本県立宇土高等学校	科学部地学班	ついにとらえた！神秘的火“不知火”～36年ぶりの観測から分かった現象の実態と発生原理～
地A08	15:25 ～ 15:39	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校	科学・情報部	日の入り後に現れる層積雲と降雨の関係
休憩（15:39～15:54）					
地A09	15:54 ～ 16:08	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地学部	流水中の真砂土が流水の侵食力に与える影響について
地A10	16:10 ～ 16:24	長野県	長野県飯山高等学校	自然科学部	飯山高校直下礫層の供給河川の推定
地A11	16:26 ～ 16:40	千葉県	千葉県立佐倉高等学校	天文気象部	ビニールハウスの形状による防風
地A12	16:42 ～ 16:56	福岡県	福岡工業大学附属城東高等学校	科学部	雲と天気に関連性vol.4 ～雲の形から降水を読み解く～
休憩（16:56～17:11）					
地A13	17:11 ～ 17:25	滋賀県	滋賀県立米原高等学校	地学部	地質が土壌と植生に与える影響
地A14	17:27 ～ 17:41	香川県	高松第一高等学校	自然科学部	堆積岩の形成メカニズムを用いた硬化体作成への挑戦
地A15	17:43 ～ 17:57	山口県	山口県立徳山高等学校	科学部	空の色はなぜ青いのか
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地A16	9:15 ～ 9:29	青森県	青森県立青森高等学校	自然科学部	堤川の水質改善に向けて
地A17	9:31 ～ 9:45	鹿児島県	池田学園池田高等学校	SSH地球科学班	活火山「池田・山川」での火山ガス観測による地下モデルの提唱
地A18	9:47 ～ 10:01	富山県	高岡龍谷高等学校	理科部	アンモナイト化石に見られる種の優位性
休憩（10:01～10:16）					
地A19	10:16 ～ 10:30	静岡県	静岡県立磐田南高等学校	地学部	遠州灘・駿河湾の漂着軽石を探る ～暗褐色軽石の同定～
地A20	10:32 ～ 10:46	広島県	広島大学附属高等学校	科学研究班	広島花崗岩類中の暗色包有岩の形成プロセス ～断裂系に着目した探究～
諸連絡（10:46～10:55）					

研究発表	地学分野 B会場（北4号館1階412講義室）
------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土) 13:00～審査委員紹介、諸連絡 13:15～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地B01	13:20 ～ 13:34	徳島県	徳島県立富岡西高等学校	自然科学部	火星重力下における毛細管現象の検討
地B02	13:36 ～ 13:50	群馬県	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	北関東における気候変動に伴う夕立の発生傾向の変化
地B03	13:52 ～ 14:06	京都府	京都市立堀川高等学校	自然科学部	自作電波望遠鏡を用いた銀河系の考察
地B04	14:08 ～ 14:22	埼玉県	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	地質天文部	天の川銀河のHI分布とメタノールメーザー天体の位置比較
休憩（14:22～14:37）					
地B05	14:37 ～ 14:51	兵庫県	兵庫県立西脇高等学校	自然科学部地学班	実用的な換気方法を求めて
地B06	14:53 ～ 15:07	山梨県	山梨県立日川高等学校	物理・地学部	山梨県甲州市勝沼町におけるブドウ畑の粘土質土壌について
地B07	15:09 ～ 15:23	長崎県	長崎県立長崎南高等学校	科学部	真砂土条件下における斜面災害モデル実験
地B08	15:25 ～ 15:39	栃木県	栃木県立鹿沼東高等学校	科学部	土の強度実験
休憩（15:39～15:54）					
地B09	15:54 ～ 16:08	和歌山県	近畿大学附属和歌山高等学校	科学部	透過型砂防堰堤の検証と災害対策
地B10	16:10 ～ 16:24	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	地盤内の水を減らすことによる液状化現象の防ぎ方
地B11	16:26 ～ 16:40	岐阜県	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	長良橋周辺の長良川の河床構造の解析～長良川の水難事故について考える～
地B12	16:42 ～ 16:56	北海道	北海道釧路明輝高等学校	科学部	レプリカの三次元点群データから把握した雪の角板状結晶の形状特徴
休憩（16:56～17:11）					
地B13	17:11 ～ 17:25	東京都	東京都立富士高等学校	科学探究部天文班	太陽像を用いたシーイングの測定
地B14	17:27 ～ 17:41	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	高千穂峽柱状節理におけるコロネードからエンタブラチャへの形成過程移行
地B15	17:43 ～ 17:57	香川県	香川県立三本松高等学校	科学部	三本松高校屋上での天体観測の適性を夜間の暗さから考える
諸連絡（17:57～18:00）					

2日目 令和7年7月27日(日) 8:55入室完了 9:00～諸連絡 9:05～準備

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
地B16	9:15 ～ 9:29	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部 地学班	国指定中山風穴の機能を守る！～20年間の冷風穴における環境変化～
地B17	9:31 ～ 9:45	沖縄県	沖縄県立那覇国際高等学校	自然科学部	200MHzで探る地下の世界～那覇国際高校地盤調査報告～
地B18	9:47 ～ 10:01	秋田県	秋田県立秋田高等学校	地学部	秋田地域における大雨による災害の発生雨量の推定
休憩（10:01～10:16）					
地B19	10:16 ～ 10:30	高知県	土佐塾高等学校	天文部	高知県の夜空の明るさ～高知の夜空の色は何色？～
地B20	10:32 ～ 10:46	山形県	山形県立致道館高等学校	科学部	酸化鉄の含有量と土砂崩れ
諸連絡（10:46～10:55）					

ポスター発表	A会場（オリーブスクエア 2階多目的ホール）
--------	------------------------

1日目 令和7年7月26日(土)

12:45～審査員紹介、諸連絡（北3号館3階331講義室にて） 13:00～発表会場に移動

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PA01	13:20 ～ 13:28	徳島県	徳島県立脇町高等学校	探究部	青石の風化と微生物 ～世界農業遺産地域における特異な風化の謎に迫る～
PA02	13:30 ～ 13:38	秋田県	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	秋田県の河川と海岸に存在するマイクロプラスチックの研究
PA03	13:40 ～ 13:48	千葉県	千葉県立長狭高等学校	科学部	短誘導期ブルーボトル反応の実現とその理論
PA04	13:50 ～ 13:58	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	オオヘビガイの生態に関する研究 ～海のスパイダーマンの生態の謎を解明する～
PA05	14:00 ～ 14:08	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	日本に生息する海浜植物の海流散布適性の推定
PA06	14:10 ～ 14:18	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	カビゴケの香気成分がもつ抗カビ作用
休憩（14:18～14:33）					
PA07	14:33 ～ 14:41	京都府	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	砂糖を食べて電気を生み出す夢の技術を現実に ～微生物燃料電池における糖の添加量が短絡電流値に与える影響～
PA08	14:43 ～ 14:51	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	科学部	みずから見る和歌山市
PA09	14:53 ～ 15:01	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	生物部	送電線下の森林管理がチョウ類の多様性に与える影響 — 埼玉県 緑のトラスト保全地の事例 —
PA10	15:03 ～ 15:11	青森県	青森県立大湊高等学校	サイエンスクラブ	色素増感光触媒における二番煎じ茶葉抽出液の利用
PA11	15:13 ～ 15:21	栃木県	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	アマガエルの体表の粘液について
PA12	15:23 ～ 15:31	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	生命科学部	アリジゴクの造巣行動に関する研究Ⅲ ～縄張り行動と造巣の解明～
休憩（15:31～15:46）					
PA13	15:46 ～ 15:54	沖縄県	沖縄県立北山高等学校	生物部	降雨時におけるミミズの「這い出し行動」のメカニズム
PA14	15:56 ～ 16:04	富山県	富山県立砺波高等学校	科学部	銅鏡反応 ～キレイな銅鏡を作るには～
PA15	16:06 ～ 16:14	島根県	島根県立松江北高等学校	自然科学部	お米のおいしさ大研究 パートⅧ ～超高水圧加工玄米を活用した麺加工品の機能性について～
PA16	16:16 ～ 16:24	東京都	安田学園高等学校	生物部	クロマルハナバチの二倍体雄の役割
PA17	16:26 ～ 16:34	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	自然科学部	下敷変形時の発音に関する研究
PA18	16:36 ～ 16:44	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	岩手県における外来藻類ミズワタクチビルケイソウの季節消長と生育環境
休憩（16:44～16:59）					
PA19	16:59 ～ 17:07	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	生物部	ウニは移動前に進行方向の管足を伸ばす
PA20	17:09 ～ 17:17	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	対峙培養法におけるヒラタケとカビの成長範囲変化
PA21	17:19 ～ 17:27	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部生物班	猪苗代湖産淡水シジミの示す蛍光とカワニナの捕食の関係について
PA22	17:29 ～ 17:37	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	玉葱外皮を活用した媒染による金属イオン濃度の測定
PA23	17:39 ～ 17:47	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	避難所で用いる簡易段ボールベッドの開発
諸連絡（17:47～18:00）					

ポスター発表	A会場（オリーブスクエア 2階多目的ホール）
--------	------------------------

2日目 令和7年7月27日(日)

8:55 入室完了 9:00～諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PA01	9:10 ～ 9:14	徳島県	徳島県立脇町高等学校	探究部	青石の風化と微生物 ～世界農業遺産地域における特異な風化の謎に迫る～
PA02	9:16 ～ 9:20	秋田県	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	秋田県の河川と海岸に存在するマイクロプラスチックの研究
PA03	9:22 ～ 9:26	千葉県	千葉県立長狭高等学校	科学部	短誘導期ブルーボトル反応の実現とその理論
PA04	9:28 ～ 9:32	長崎県	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	オオヘビガイの生態に関する研究 ～海のスパイダーマンの生態の謎を解明する～
PA05	9:34 ～ 9:38	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	日本に生息する海浜植物の海流散布適性の推定
PA06	9:40 ～ 9:44	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	カビゴケの香気成分がもつ抗カビ作用
PA07	9:46 ～ 9:50	京都府	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	砂糖を食べて電気を生み出す夢の技術を現実に ～微生物燃料電池における糖の添加量が短絡電流値に与える影響～
PA08	9:52 ～ 9:56	和歌山県	智辯学園和歌山高等学校	科学部	みずから見る和歌山市
休憩（9:56～10:11）					
PA09	10:11 ～ 10:15	埼玉県	埼玉県立川越高等学校	生物部	送電線下の森林管理がチョウ類の多様性に与える影響 — 埼玉県 緑のトラスト保全地の事例 —
PA10	10:17 ～ 10:21	青森県	青森県立大湊高等学校	サイエンスクラブ	色素増感光触媒における二番煎じ茶葉抽出液の利用
PA11	10:23 ～ 10:27	栃木県	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	アマガエルの体表の粘液について
PA12	10:29 ～ 10:33	山梨県	山梨県立甲府南高等学校	生命科学部	アリジゴクの造巣行動に関する研究Ⅲ ～縄張り行動と造巣の解明～
PA13	10:35 ～ 10:39	沖縄県	沖縄県立北山高等学校	生物部	降雨時におけるミミズの「這い出し行動」のメカニズム
PA14	10:41 ～ 10:45	富山県	富山県立砺波高等学校	科学部	銅鏡反応 ～キレイな銅鏡を作るには～
PA15	10:47 ～ 10:51	島根県	島根県立松江北高等学校	自然科学部	お米のおいしさ大研究 パートⅧ ～超高水圧加工玄米を活用した麴加工品の機能性について～
PA16	10:53 ～ 10:57	東京都	安田学園高等学校	生物部	クロマルハナバチの二倍体雄の役割
休憩（10:57～11:12）					
PA17	11:12 ～ 11:16	愛媛県	愛媛県立松山南高等学校	自然科学部	下敷変形時の発音音に関する研究
PA18	11:18 ～ 11:22	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	岩手県における外来藻類ミズタケチビルケイソウの季節消長と生育環境
PA19	11:24 ～ 11:28	熊本県	熊本県立済々黌高等学校	生物部	ウニは移動前に進行方向の管足を伸ばす
PA20	11:30 ～ 11:34	石川県	石川県立七尾高等学校	SSC	対峙培養法におけるヒラタケとカビの成長範囲変化
PA21	11:36 ～ 11:40	福島県	福島県立会津学鳳高等学校	SSH探求部生物班	猪苗代湖産淡水シジミの示す蛍光とカワニナの捕食の関係について
PA22	11:42 ～ 11:46	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	玉葱外皮を活用した媒染による金属イオン濃度の測定
PA23	11:48 ～ 11:52	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	避難所で用いる簡易段ボールベッドの開発
諸連絡（11:52～11:55）					

ポスター発表	B会場（大学会館2階カフェテリア、リーフスクエア2階学習ラウンジ）
--------	-----------------------------------

1日目 令和7年7月26日(土)

12:45～審査員紹介、諸連絡（北3号館3階331講義室にて）

13:00～発表会場に移動

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PB01	13:20 ～ 13:28	香川県	香川県立高松桜井高等学校	理学部	香川県西讃地域に生息するカワバタモロコの生息域外保全に関する研究
PB02	13:30 ～ 13:38	愛知県	名古屋高等学校	地球科学部	愛知県知多半島南端、内海断層近くの師崎層群で見られる変形荷重痕
PB03	13:40 ～ 13:48	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部生物班	鳥取市内におけるネザサの一斉開花 ～ネザサは減少していくのか～
PB04	13:50 ～ 13:58	静岡県	静岡県立清水東高等学校	自然科学部化学班	疑似濃淡電池の反応機構の解明
PB05	14:00 ～ 14:08	宮城県	宮城県古川黎明高等学校	自然科学部	発光バクテリアの発光強度と溶存酸素量
PB06	14:10 ～ 14:18	鹿児島県	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部	サクラの花びらの落ち方を紙で再現する
休憩（14:18～14:33）					
PB07	14:33 ～ 14:41	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地学部	液状化現象発生時におけるマンホールの形状と浮き上がりの関係
PB08	14:43 ～ 14:51	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	廃棄牡蠣殻を利用した強化プラスチックの開発
PB09	14:53 ～ 15:01	福岡県	福岡県立修猷館高等学校	化学部	塩の結晶に関する研究
PB10	15:03 ～ 15:11	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	深層学習モーショントラッキングを用いたメキシコサンショウウオの行動解析 ～「ウーパールーパー」は縄張り行動を示すのか～
PB11	15:13 ～ 15:21	新潟県	新潟県立海洋高等学校	海洋生物研究部	上越地域におけるキタノメダカ集団の遺伝的攪乱
PB12	15:23 ～ 15:31	高知県	土佐女子高等学校	生物部	カラフルな国語辞典 共感覚が生まれるしくみ
休憩（15:31～15:46）					
PB13	15:46 ～ 15:54	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	藍鉄鉱の生成条件を探る
PB14	15:56 ～ 16:04	山口県	山口県立下関西高等学校	科学部	縄の回転速度と風切り音の関係
PB15	16:06 ～ 16:14	長野県	長野県松本県ヶ丘高等学校	生物研究	高山におけるヒメバチ科の吸蜜に関する研究
PB16	16:16 ～ 16:24	北海道	市立札幌旭丘高等学校	サイエンス部	カスケード分類器を利用した有孔虫化石識別システムの開発
PB17	16:26 ～ 16:34	兵庫県	兵庫県立神戸高等学校	自然科学研究会化学班	竹を利用したセルロース系接着剤の生成
PB18	16:36 ～ 16:44	群馬県	群馬県立中央中等教育学校	科学部	外的要因に影響されないカラーセンサ認識
休憩（16:44～16:59）					
PB19	16:59 ～ 17:07	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	環境変化に対するジャコウアゲハの適応能力について
PB20	17:09 ～ 17:17	神奈川県	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	そらみるくん ～雲の割合による気象条件の法則性を導き出そう！～
PB21	17:19 ～ 17:27	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	総合文化運動部	変形菌のライフサイクルの研究 ～原形質流動から変身条件を解明する～
PB22	17:29 ～ 17:37	広島県	広島県立大門高等学校	理科部	発芽成長における微量必須元素要求性の植物種間比較 ～肥料づくりに向けて～
PB23	17:39 ～ 17:47	香川県	香川県立高瀬高等学校	生物部	スーパーフード モリンガの枝の活用
諸連絡（17:47～18:00）					

ポスター発表	B会場（大学会館2階カフェテリア、リーフスクエア2階学習ラウンジ）
--------	-----------------------------------

2日目 令和7年7月27日(日)

8:55 入室完了 9:00～諸連絡

No.	予定時刻	都道府県名	学校名	部・クラブ名	発表テーマ
PB01	9:10 ～ 9:14	香川県	香川県立高松桜井高等学校	理学部	香川県西讃地域に生息するカワバタモロコの生息域外保全に関する研究
PB02	9:16 ～ 9:20	愛知県	名古屋高等学校	地球科学部	愛知県知多半島南端、内海断層近くの師崎層群で見られる変形荷重痕
PB03	9:22 ～ 9:26	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部生物班	鳥取市内におけるネザサの一斉開花 ～ネザサは減少していくのか～
PB04	9:28 ～ 9:32	静岡県	静岡県立清水東高等学校	自然科学部化学班	疑似濃淡電池の反応機構の解明
PB05	9:34 ～ 9:38	宮城県	宮城県古川黎明高等学校	自然科学部	発光バクテリアの発光強度と溶存酸素量
PB06	9:40 ～ 9:44	鹿児島県	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部	サクラの花びらの落ち方を紙で再現する
PB07	9:46 ～ 9:50	茨城県	茨城県立日立第一高等学校	地学部	液化化現象発生時におけるマンホールの形状と浮き上がりの関係
PB08	9:52 ～ 9:56	香川県	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	廃棄牡蠣殻を利用した強化プラスチックの開発
休憩（9:56～10:11）					
PB09	10:11 ～ 10:15	福岡県	福岡県立修猷館高等学校	化学部	塩の結晶に関する研究
PB10	10:17 ～ 10:21	山形県	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスパーサイエンスクラブ	深層学習モーショントラッキングを用いたメキシコサンショウウオの行動解析 ～「ウーパールーパー」は縄張り行動を示すのか～
PB11	10:23 ～ 10:27	新潟県	新潟県立海洋高等学校	海洋生物研究部	上越地域におけるキタノメダカ集団の遺伝的攪乱
PB12	10:29 ～ 10:33	高知県	土佐女子高等学校	生物部	カラフルな国語辞典 共感覚が生まれるしくみ
PB13	10:35 ～ 10:39	滋賀県	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	藍鉄鉱の生成条件を探る
PB14	10:41 ～ 10:45	山口県	山口県立下関西高等学校	科学部	縄の回転速度と風切り音の関係
PB15	10:47 ～ 10:51	長野県	長野県松本県ヶ丘高等学校	生物研究	高山におけるヒメバチ科の吸蜜に関する研究
PB16	10:53 ～ 10:57	北海道	市立札幌旭丘高等学校	サイエンス部	カスケード分類器を利用した有孔虫化石識別システムの開発
休憩（10:57～11:12）					
PB17	11:12 ～ 11:16	兵庫県	兵庫県立神戸高等学校	自然科学研究会化学班	竹を利用したセルロース系接着剤の生成
PB18	11:18 ～ 11:22	群馬県	群馬県立中央中等教育学校	科学部	外的要因に影響されないカラーセンサ認識
PB19	11:24 ～ 11:28	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	環境変化に対するジャコウアゲハの適応能力について
PB20	11:30 ～ 11:34	神奈川県	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	そらみるくん ～雲の割合による気象条件の法則性を導き出そう！～
PB21	11:36 ～ 11:40	佐賀県	佐賀県立佐賀西高等学校	総合文化運動部	変形菌のライフサイクルの研究 ～原形質流動から変身条件を解明する～
PB22	11:42 ～ 11:46	広島県	広島県立大門高等学校	理科部	発芽成長における微量必須元素要求性の植物種間比較 ～肥料づくりに向けて～
PB23	11:48 ～ 11:52	香川県	香川県立高瀬高等学校	生物部	スーパーフード モリンガの枝の活用
諸連絡（11:52～11:55）					

巡検研修

A 「小豆島のシンパク（国指定特別天然記念物）とオリーブから学ぶ地域振興」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
北海道	ポスター発表	地学	市立札幌旭丘高等学校	サイエンス部	2	1	3
宮城県	研究発表	化学	宮城県仙台第二高等学校	化学部	3	1	4
群馬県	研究発表	生物	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	2	1	3
群馬県	研究発表	地学	群馬県立前橋女子高等学校	科学部	1	0	1
神奈川県	研究発表	物理	川崎市立川崎高等学校	科学部	2	1	3
岐阜県	研究発表	物理	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	3	1	4
岐阜県	研究発表	地学	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	3	0	3
滋賀県	研究発表	化学	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部化学班	3	1	4
和歌山県	ポスター発表	地学	智辯学園和歌山高等学校	科学部	3	1	4
島根県	研究発表	生物	島根県立益田高等学校	自然科学部	3	0	3
高知県	研究発表	生物	高知学芸高等学校	理科部	1	1	2
長崎県	研究発表	化学	長崎県立長崎西高等学校	長崎西高化学部	3	1	4
				合計	29	9	38

<訪問先> 宝生院（土庄町）、道の駅 小豆島オリーブ公園（小豆島町）

<内 容> ・宝生院のシンパク（土庄町） 国指定特別天然記念物のシンパク。樹齢1600年以上と言われる巨樹（周囲約16.9m、樹高約20.9m）。三方に分かれた支幹を出し、樹勢も旺盛で壮観です。古墳時代に第15代応神天皇が手植えされたものと語り継がれています。保護に向けた地域の取り組み、地形との関係などについて学びます。

・オリーブ公園（小豆島町） 日本のオリーブ栽培発祥の地として他産地を先導する「トップワン」であり続ける小豆島。余すことなく利活用される小豆島オリーブを核とした持続可能な地域づくりの取り組みを中心に学びます。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> A号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までに大学本部前に集合してください。

<連絡事項> 小豆島へは片道1時間フェリーに乗船します。
帰りは高松港で解散も可能です。バスは香川大学まで戻ります。

B 「『医療・理工の学びを体験してみよう!』徳島文理大学 新高松駅キャンパス」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計	コース
神奈川県	研究発表	生物	神奈川県立小田原高等学校	生物部	2	1	3	B-1
和歌山県	研究発表	地学	近畿大学附属和歌山高等学校	科学部	3	1	4	
鳥取県	研究発表	化学	鳥取県立米子工業高等学校	ものづくり同好会C	3	1	4	
香川県	研究発表	物理	高松第一高等学校	自然科学部	3	0	3	
長崎県	研究発表	物理	長崎県立長崎北陽台高等学校	数理科学部	3	1	4	
福島県	研究発表	物理	福島県立安積高等学校	物理部	3	1	4	B-2
香川県	研究発表	化学	香川県立三本松高等学校	科学部	3	1	4	
香川県	研究発表	生物	香川県立高松桜井高等学校	理学部	3	1	4	
香川県	ポスター発表	生物	香川県立高松桜井高等学校	理学部	3	0	3	
鹿児島県	研究発表	化学	鹿児島県立国分高等学校	サイエンス部	3	1	4	
				合計	29	8	37	

<訪問先> 徳島文理大学（高松市）〔 B-1：香川薬学部 / B-2：理工学部 〕

<内 容> 様々な実験機器を取り揃え、四国の玄関口である香川県の高松駅近郊に立地する徳島文理大学の新キャンパスにて、大学の研究内容の紹介とミニ実験を行います。精密で高価な実験器具の紹介はもちろん、各学部学科でのミニ実験を通じて、先端の理科学研究に触れてみませんか。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> B号車

<出発時間・乗車場所> 12時45分までに香川大学 大学本部前に集合してください。

<連絡事項> バスは行きのみで、終了後は現地解散(JR 高松駅付近)となります。

C 「『伝統的な醤油づくり & ハマチ養殖発祥の地で養殖』を体験！」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
青森県	ポスター発表	化学	青森県立大湊高等学校	サイエンスクラブ	2	1	3
福島県	研究発表	生物	福島県立福島高等学校	スーパーサイエンス部	2	1	3
茨城県	研究発表	生物	茨城県立並木中等教育学校	科学研究部	1	1	2
群馬県	ポスター発表	物理	群馬県立中央中等教育学校	科学部	2	1	3
東京都	研究発表	物理	東京都立科学技術高等学校	科学研究部	2	1	3
東京都	研究発表	地学	東京都立富士高等学校	科学探究部天文班	3	1	4
和歌山県	研究発表	生物	智辯学園和歌山高等学校	生物部	3	1	4
山口県	研究発表	物理	山口県立宇部高等学校	科学部	2	1	3
香川県	研究発表	地学	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
大分県	研究発表	地学	大分県立中津南高等学校	科学部	3	1	4
沖縄県	研究発表	物理	沖縄県立豊見城高等学校	科学クラブ	2	1	3
沖縄県	研究発表	地学	沖縄県立那覇国際高等学校	自然科学部	3	1	4
				合計	28	12	40

<訪問先> かめびし屋、体験学習館マーレリッコ（東かがわ市）

<内 容> 1. 昔ながらの伝統的なむしろ麹法など、大企業にはない醤油の製法にかける情熱の産物であるかめびし屋の醤油の世界に浸っていただきます。もろみ蔵や作業場を見学したあと、もろみ蔵に生息するコウジ菌などを顕微鏡で観察して、微生物の営みに思いをはせてみましょう。その後、実際に醤油を人力で絞り、絞った醤油のテイastingからいつもの醤油との味の違いを感じ取ってほしいです。

2. 日本で始めて海水魚類（ブリ）養殖に成功した東かがわ市の安戸池に設置された養殖生け簀で育てられているハマチの遊泳する姿を観察し、餌やりを体験してみてください。餌やりは、ペレット状の餌を手で投げ入れるだけなので、手が汚れる心配はありません。施設内に戻ってから養殖ハマチの解体見学をした後、試食もあります。瀬戸内の豊かな食文化をぜひとも味覚で体験してみてください。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> C号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに大学本部前に集合してください。

<連絡事項> 醤油やハマチの試食があるので、大豆やハマチのアレルギーがある人は申し出てください。

D 「五感で楽しむワクワク体験！チョウザメとイルカの生態観察ツアー」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
秋田県	ポスター発表	生物	秋田県立秋田南高等学校	自然科学部	3	1	4
山形県	ポスター発表	生物	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	3	1	4
茨城県	研究発表	物理	茨城県立日立第一高等学校	物理部	2	1	3
茨城県	研究発表	地学	茨城県立日立第一高等学校	地学部	2	1	3
茨城県	ポスター発表	地学	茨城県立日立第一高等学校	地学部	2	0	2
埼玉県	ポスター発表	生物	埼玉県立川越高等学校	生物部	3	1	4
静岡県	ポスター発表	化学	静岡県立清水東高等学校	自然科学部化学班	3	1	4
滋賀県	研究発表	生物	滋賀県立河瀬高等学校	科学部	3	1	4
山口県	研究発表	化学	山口県立徳山高等学校	科学部	2	1	3
山口県	研究発表	地学	山口県立徳山高等学校	科学部	2	0	2
香川県	研究発表	化学	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
香川県	研究発表	化学	高松第一高等学校	自然科学部	3	0	3
				合計	31	9	40

<訪問先> 東かがわ・つばさキャビアセンター（東かがわ市）

日本ドルフィンセンター（さぬき市）

<内 容> ①廃校になった中学校をほぼそのままの形で活用している施設です。体育館にプールを設置してチョウザメを養殖し、家庭科室でキャビアの生産を行っています。当日は図書館跡を改装した会議室でチョウザメの養殖の説明や体育館の養殖プールを実際に見学してもらいます。

②穏やかな瀬戸内の海を仕切ってイルカを飼育している施設です。当日はトレーナーからイルカの生態についてレクチャーしてもらえることはもちろん、イルカのエサやり体験も実施します。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 帽子、タオル、飲み物、日焼け止め、雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> D号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに大学本部前に集合してください。

<連絡事項> 当日は屋外での活動も含まれます。熱中症には十分にご注意ください。

天候不良の場合、②日本ドルフィンセンターでのエサやり体験が中止になる可能性があります。ご了承ください。

E 「香川の身近な自然&源内先生足跡巡りとガーネット探し体験」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
北海道	研究発表	物理	北海道札幌啓成高等学校	科学部	2	1	3
北海道	研究発表	地学	北海道釧路明輝高等学校	科学部	3	1	4
青森県	研究発表	生物	青森県立三本木高等学校	自然科学部	1	1	2
岩手県	ポスター発表	生物	岩手県立盛岡第一高等学校	生物部	3	1	4
栃木県	ポスター発表	生物	栃木県立日光明峰高等学校	科学部	2	1	3
千葉県	研究発表	地学	千葉県立佐倉高等学校	天文気象部	2	1	3
山梨県	研究発表	生物	山梨県立笛吹高等学校	植物研究部	3	1	4
静岡県	研究発表	地学	静岡県立磐田南高等学校	地学部	3	1	4
愛知県	研究発表	生物	愛知県立岡崎北高等学校	サイエンス部	2	1	3
広島県	研究発表	化学	広島県立広高等学校	情報・科学部	1	1	2
長崎県	研究発表	生物	長崎県立長崎南高等学校	科学部	2	1	3
熊本県	研究発表	物理	熊本県立熊本高等学校	物理部	2	1	3
				合計	26	12	38

<訪問先> 雨滝自然科学館、平賀源内記念館（さぬき市）

<内 容> 雨滝自然科学館では中生代から新生代にかけて形成された香川の地質概略について、産出する化石や鉱物を通して高校生が解説します。また、ガーネットを含む砂からガーネットを取り出す体験をします。平賀源内記念館では香川県出身の平賀源内の足跡や功績を展示品や映像を通して学びます。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> E号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 雨滝自然科学館でのガーネットを取り出す体験は屋外に設置されたテントの下で行うため、熱中症対策を念入りにしてください。

F 「望遠鏡を楽しもう！ ～天体望遠鏡博物館～」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
北海道	研究発表	生物	函館大学付属柏稜高等学校	理科学研究部	1	1	2
宮城県	研究発表	地学	宮城県仙台第三高等学校	自然科学部地学班	1	1	2
福島県	研究発表	化学	福島県立磐城高等学校	自然科学部	3	1	4
群馬県	研究発表	物理	群馬県立桐生高等学校	物理部	3	1	4
新潟県	研究発表	地学	新潟県立長岡大手高等学校	自然科学部	2	1	3
長野県	研究発表	生物	長野県飯山高等学校	自然科学部	3	1	4
京都府	研究発表	物理	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	3	1	4
京都府	ポスター発表	化学	京都市立京都工学院高等学校	サイエンスクラブ	3	1	4
島根県	研究発表	化学	島根県立松江東高等学校	自然科学部	3	1	4
徳島県	研究発表	地学	徳島県立富岡西高等学校	自然科学部	3	1	4
徳島県	ポスター発表	生物	徳島県立脇町高等学校	探究部	3	1	4
				合計	28	11	39

<訪問先> みんなのちからでつくる博物館 天体望遠鏡博物館（さぬき市）

<内 容> 全国から寄贈された 400 台を超える小型望遠鏡や大型望遠鏡観測室などを天体ガイドスタッフの方のご案内により見学をするコースです。

見学する内容は 4 つあり、1 つのグループを 10 人程度とし、30 分程度かけて順番に回っていきます。

内容① 天体望遠鏡博物館内の見学

内容② 天体望遠鏡博物館についての説明を聞く（映像あり）

内容③ ドーム型プラネタリウムで星を眺める

内容④ 大型望遠鏡を用いて太陽の観察を行う

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時、駐車場から博物館までの移動のための傘の準備をしておいてください。

<バス号車> F 号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 00 分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> バスの移動時、トイレ休憩はありません。

G 「瀬戸内海の生態系を学ぶ ～海洋調査のミニ体験～」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
新潟県	ポスター発表	生物	新潟県立海洋高等学校	海洋生物研究部	3	1	4
石川県	研究発表	物理	石川県立七尾高等学校	SSC	3	0	3
石川県	研究発表	地学	石川県立七尾高等学校	SSC	3	1	4
山梨県	ポスター発表	生物	山梨県立甲府南高等学校	生命科学部	3	1	4
鳥取県	研究発表	生物	鳥取県立鳥取東高校学校	科学部	1	1	2
広島県	研究発表	地学	広島大学附属高等学校	科学研究班	3	1	4
高知県	研究発表	化学	土佐女子高等学校	生物部	3	0	3
高知県	ポスター発表	生物	土佐女子高等学校	生物部	3	1	4
長崎県	ポスター発表	生物	長崎県立長崎北陽台高等学校	生物部	3	1	4
沖縄県	研究発表	生物	沖縄県立辺土名高等学校	サイエンス部	3	1	4
				合計	28	8	36

<訪問先> 香川大学 瀬戸内圏研究センター 庵治マリンステーション（高松市）

<内 容> 実習船に乗り、プランクトンネットを用いて海洋プランクトンを採集します。庵治マリンステーションに戻った後、採集した海洋プランクトンを顕微鏡で観察します。瀬戸内海の生態系について一緒に学びましょう。

<雨天時> 基本的に雨天決行です。強風等で船が欠航になる場合は座学による講座に変更します。

<服装・持ち物> ・体操服等のジャージ（上は半袖でもよいが、下は長ズボンを着用すること）
スニーカー（サンダルは禁止）、帽子（つばの広い帽子が望ましい）、酔い止め
・水分は各自で準備してください。（近隣に自販機なし）

<バス号車> G号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> ・庵治マリンステーションまでの道はカーブが多く、実習船にも乗るので、酔いやすい人は酔い止めを準備してください。
・熱中症対策は各自でお願いします。
・バスに乗車する前に香川大学で更衣します。（男子：432 講義室、女子：431 講義室）

H「ケミカルキャッチャー“ハイドロタルサイト”の献身と瀬戸大橋建設の歴史」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
山形県	研究発表	化学	山形県立米沢興譲館高等学校	コアスーパーサイエンスクラブ	3	1	4
兵庫県	研究発表	生物	兵庫県立明石北高等学校	科学探究部生物班	3	1	4
兵庫県	ポスター発表	化学	兵庫県立神戸高等学校	自然科学研究会 化学班	3	1	4
香川県	研究発表	物理	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
福岡県	研究発表	地学	福岡工業大学附属城東高等学校	科学部	3	1	4
佐賀県	研究発表	物理	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	3	1	4
佐賀県	研究発表	化学	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	3	0	3
佐賀県	研究発表	地学	佐賀県立佐賀西高等学校	サイエンス部	3	1	4
佐賀県	ポスター発表	生物	佐賀県立佐賀西高等学校	総合文化運動部	1	0	1
熊本県	研究発表	化学	熊本県立済々黌高等学校	化学部	3	1	4
合計					28	8	36

<訪問先> セトラスホールディングス株式会社、瀬戸大橋記念公園（坂出市）

<内 容> 我々の生活は、海からもたらされるさまざまな物質の恩恵を受けて成り立っています。その中でも瀬戸内海の海水から生成される Mg(マグネシウム)を様々な分野の製品に開発・製造し、人々の便利で快適な生活の実現に貢献しているセトラスホールディングスを訪問します。理科の化学分野で学んだ「無機化学」がどのような製品となって実生活に生かされているのか？「無機化学」の研究がどのような明るい未来をもたらすのかについて工場見学を通じて体験できます。瀬戸内海に面した香川だからこそできる研究をぜひ実感してください。

本州と四国を結ぶ唯一の鉄道橋である瀬戸大橋。開通までの歴史や建設にあたった方々の思い、そしてそこに生かされた日本建築の技術を学びませんか。香川ならではの記念館とその歴史に触れてみましょう。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 筆記用具・バインダー、雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> H号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 屋外での工場見学があるため、各自で水分補給等の熱中症対策をしてください。

I 「こんぴらさんの巨木を訪ねる」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
岩手県	研究発表	化学	岩手県立盛岡第三高等学校	理数探究コース化学2班	3	1	4
埼玉県	研究発表	生物	埼玉県立松山高等学校	生物部	2	1	3
新潟県	研究発表	生物	新潟明訓高等学校	生物部	3	1	4
富山県	研究発表	化学	富山第一高等学校	自然科学部	1	1	2
富山県	研究発表	生物	富山第一高等学校	自然科学部	2	1	3
山梨県	研究発表	地学	山梨県立日川高等学校	物理・地学部	3	1	4
岐阜県	ポスター発表	生物	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部生物班	3	1	4
静岡県	研究発表	物理	静岡県立三島北高等学校	科学部	3	1	4
島根県	研究発表	物理	島根県立出雲高等学校	自然科学部	3	1	4
広島県	ポスター発表	生物	広島県立大門高等学校	理科部	3	1	4
愛媛県	研究発表	化学	愛媛県立西条高等学校	科学部(化学)	3	1	4
				合計	29	11	40

<訪問先> 金刀比羅宮、金陵の郷（琴平町）

<内 容> 国の天然記念物に指定されている大梅檀（だいせんたん）を観察した後、金刀比羅宮表参道の 785 段の石段を上がりながら、樹齢 1000 年を超えるクスノキの巨木を観察します。本宮到着後、讃岐平野を一望し、特徴的な形の山々（火山岩頸、メサ）の成り立ちについて学びます。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 帽子、歩きやすい靴をご準備ください。雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> I 号車

<出発時間・乗車場所> 13 時 00 分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 酷暑における活動になる予定です。各自、飲み物等のご準備をお願いします。

Ｊ「多度津高校『ミニ水族館』と遠洋航海実習船『翔洋丸』の見学」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
千葉県	研究発表	生物	千葉県立検見川高等学校	生物同好会	3	1	4
神奈川県	研究発表	化学	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	3	0	3
神奈川県	ポスター発表	地学	神奈川県立相模原弥栄高等学校	サイエンス部	3	1	4
富山県	研究発表	物理	高岡向陵高等学校	自然科学部	3	1	4
石川県	研究発表	生物	石川県立七尾高等学校	SSC	3	1	4
石川県	ポスター発表	生物	石川県立七尾高等学校	SSC	3	1	4
山梨県	研究発表	物理	北杜市立甲陵高等学校	科学部	3	1	4
兵庫県	研究発表	地学	兵庫県立西脇高等学校	自然科学部地学班	3	1	4
徳島県	研究発表	化学	徳島県立富岡東高等学校	化学研究部	3	1	4
熊本県	ポスター発表	生物	熊本県立済々黉高等学校	生物部	3	1	4
				合計	30	9	39

<訪問先> 香川県立多度津高等学校 ミニ水族館・遠洋航海実習船「翔洋丸」（多度津町）

<内 容> 香川県立多度津高等学校は瀬戸内海に面した地域の高校で唯一「水産科」を持つ高校です。学科に応じて「海・船・魚」などについて専門的に学びます。本校には水生生物を飼育管理している生物科学部があります。水生生物を「ミニ水族館」として公開しています。メインの2m水槽をはじめ大小合わせて90もの水槽で100種類以上の水生生物を展示しています。見ることはもちろん、ドクターフィッシュ体験、ふれあい体験、エサやり体験もできます。活動協力金をお支払いいただいた方には「魚朱印」を差し上げます。また、海洋技術科では60日余りの遠洋航海実習がカリキュラムに含まれています。その遠洋航海実習を行う実習船「翔洋丸」を見学します。長期にわたる航海中の生活や実習について研修します。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> J号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

K 「国内随一の種類数を誇るワクチンの製造！」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
秋田県	研究発表	生物	秋田県立秋田高等学校	生物部	2	1	3
福島県	研究発表	地学	福島県立会津学鳳高等学校	SSH 探求部地学班	3	1	4
福島県	ポスター発表	生物	福島県立会津学鳳高等学校	SSH 探求部生物班	3	1	4
新潟県	研究発表	化学	新潟県立新発田高等学校	自然科学部化学班	3	1	4
長野県	研究発表	化学	長野県上田高等学校	化学班	2	1	3
静岡県	研究発表	生物	静岡県立磐田南高等学校	生物部	3	1	4
和歌山県	研究発表	化学	和歌山県立橋本高等学校	科学部	3	1	4
島根県	ポスター発表	生物	島根県立松江北高等学校	自然科学部	1	1	2
香川県	研究発表	生物	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
福岡県	研究発表	生物	福岡県立東筑高等学校	生物部	3	1	4
				合計	26	10	36

<訪問先> 一般財団法人 阪大微生物病研究会（観音寺市）

<内 容> インフルエンザや日本脳炎などの不活化ワクチンをはじめ、水痘や麻疹・風疹などの生ワクチンなどの製造過程について学びます。また、研究開発についての講義や製造現場の見学もあります。免疫や医療に関心がある人は是非参加してみてください。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> K号車

<出発時間・乗車場所> 13時00分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

Ⅱ 「スキルラボでプチ医学体験、やってみよう！」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
宮城県	研究発表	生物	宮城県古川黎明高等学校	自然科学部	2	1	3
宮城県	ポスター発表	生物	宮城県古川黎明高等学校	自然科学部	3	0	3
秋田県	研究発表	化学	秋田県立秋田高等学校	理数科化学班	2	1	3
栃木県	研究発表	化学	栃木県立黒磯高等学校	科学部	2	1	3
香川県	研究発表	物理	香川県立三本松高等学校	科学部	3	1	4
香川県	研究発表	化学	香川県立三本松高等学校	科学部	3	1	4
香川県	研究発表	化学	香川県立観音寺第一高等学校	化学部	3	0	3
香川県	研究発表	生物	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	2	1	3
香川県	研究発表	地学	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
愛媛県	研究発表	生物	愛媛大学附属高等学校	理科部	1	1	2
鹿児島県	研究発表	地学	池田学園池田高等学校	SSH 地球科学班	3	1	4
沖縄県	研究発表	化学	沖縄県立名護高等学校	生物・化学同好会	2	1	3
				合計	29	10	39

<訪問先> 香川大学 医学部（三木町）

<内 容> 医療に関する講義を聞いた後、いくつかの医療体験を行います。正しい手洗いの仕方から始め、内視鏡手術フィジカルトレーニングシミュレータなどの機器操作を体験したり、ブタの肺や心臓を用いて臓器についての知識を深めたりします。
ドクターヘリやドクターカーがあれば、その装備等を見学できるかもしれません。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> Ⅱ号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに大学本部前に集合してください。

<連絡事項> 発熱、風邪症状等の体調不良の場合、参加はご遠慮いただきます。

M「農学が未来を創る ～来て見て触って香川大学農学部体験～」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
秋田県	研究発表	地学	秋田県立秋田高等学校	地学部	1	1	2
岐阜県	研究発表	化学	岐阜県立岐阜高等学校	自然科学部化学班	3	1	4
京都府	研究発表	化学	京都市立堀川高等学校	自然科学部	1	0	1
京都府	研究発表	生物	京都市立堀川高等学校	自然科学部	1	0	1
京都府	研究発表	地学	京都市立堀川高等学校	自然科学部	3	1	4
兵庫県	研究発表	化学	兵庫県立宝塚北高等学校	化学部	3	1	4
鳥取県	ポスター発表	生物	鳥取県立鳥取西高等学校	自然科学部生物班	3	1	4
広島県	研究発表	生物	広島県立西条農業高等学校	自然科学部	3	1	4
大分県	研究発表	生物	大分県立大分舞鶴高等学校	科学部生物班	3	1	4
宮崎県	研究発表	物理	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	1	1	2
宮崎県	研究発表	化学	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	2	0	2
宮崎県	研究発表	生物	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	1	0	1
宮崎県	研究発表	地学	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	1	0	1
宮崎県	ポスター発表	化学	宮崎県立宮崎西高等学校	化学部	1	0	1
				合計	27	8	35

<訪問先> 香川大学 農学部・希少糖生産ステーション（三木町）

<内 容> 農学とは、「生命」、「食糧」、「環境」、「健康」などをキーワードとして、人類が抱える諸問題を解決しようという学問です。希少糖生産ステーション、遺伝子実験施設、研究圃場の見学を通じて、「様々な機能を持つ希少な糖」、「腸内細菌の挙解析法」、「レアなキウイの育種」など、香川大学農学部で取り組んでいることの一部を体験してみましょう。農学＝農業だけではない・・・ということを実感できるはずです。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> M号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに大学本部前に集合してください。

N「最先端技術で変わる日常！情報通信とメカトロニクスの未来」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
富山県	ポスター発表	化学	富山県立砺波高等学校	科学部	3	1	4
長野県	研究発表	物理	長野県木曽青峰高等学校	自然科学同好会	3	1	4
静岡県	研究発表	化学	浜松日体高等学校	科学研究部	3	1	4
広島県	研究発表	物理	広島県立広島国泰寺高等学校	科学部物理班	2	1	3
山口県	ポスター発表	物理	山口県立下関西高等学校	科学部	2	1	3
徳島県	研究発表	生物	徳島県立城南高等学校	科学部	2	1	3
愛媛県	研究発表	物理	済美平成中等教育学校	自然科学部	3	1	4
愛媛県	ポスター発表	物理	愛媛県立松山南高等学校	自然科学部	3	1	4
高知県	研究発表	物理	高知県立高知国際高等学校	科学部	3	1	4
福岡県	研究発表	物理	福岡県立宗像高等学校	電気物理部	3	1	4
				合計	27	10	37

<訪問先> 香川大学 創造工学部（高松市）

<内 容> 香川大学創造工学部の人工知能・通信ネットワークコース、機械システムコースの計6研究室に分かれて研究室の見学および体験活動を行います。各研究室の研修テーマは以下のとおりです。※当日、内容が変更になる場合があります。

■人工知能・通信ネットワークコース 石井 光治 研究室

「身近な情報通信技術から未来の情報通信技術」

■人工知能・通信ネットワークコース 松下 春奈 研究室

「『最適化』を使って身近な問題を解決しよう！」

■機械システムコース 石丸 伊知郎 研究室「光の不思議と医用計測への展開」

■機械システムコース 鈴木 桂輔 研究室「メタバースを体験しよう！」

■機械システムコース 前山 祥一 研究室

「最新のロボット工学を用いた工事や農業の省人化・軽労化技術の紹介」

■機械システムコース 佐藤 敬子 研究室「実験で知る視覚と脳のシステム」

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> N号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

○「瀬戸内海国立公園の絶景と、香川県が世界に誇る『庵治石』の産地を訪ねる」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
山形県	研究発表	生物	山形県立東桜学館高等学校	探究部	2	1	3
栃木県	研究発表	物理	栃木県立大田原高等学校	スーパーサイエンスクラブ	3	1	4
千葉県	研究発表	物理	千葉市立千葉高等学校	物理化学部	1	1	2
富山県	研究発表	地学	高岡龍谷高等学校	理科部	3	1	4
愛知県	研究発表	物理	名古屋市立向陽高等学校	科学部	2	1	3
滋賀県	研究発表	物理	滋賀県立膳所高等学校	物理地学班	3	1	4
鳥取県	研究発表	物理	鳥取県立米子東高等学校	自然科学部	3	1	4
福岡県	ポスター発表	化学	福岡県立修猷館高等学校	化学部	2	1	3
鹿児島県	研究発表	生物	鹿児島県立錦江湾高等学校	SR シジミ班	3	1	4
鹿児島県	ポスター発表	物理	鹿児島県立錦江湾高等学校	サイエンス部	3	0	3
合計					25	9	34

<訪問先> やしまーる、五剣山 庵治石丁場(石切場)、石材加工工場（高松市）

<内 容> 見晴らしが良い屋島山上から高松市北部の地形を観察し、平野の成り立ちなどについて考察します。高級石材の「庵治石」の石切場を見学し、その後、石材加工工場を見学し、切り出された石がどのような工程を経て製品になるかを見学します。屋島と五剣山はともに約 1400 万年前に活動した火山の名残ですが、現在の地形は大きく違い、その違いが生じた理由について考察します。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 飲料水、帽子、歩きやすい服装、雨具、日焼け止め

<バス号車> O号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> バスに乗車する前に香川大学で更衣します。(男子:432 講義室、女子:431 講義室)

P 「平らな屋島と峰の並ぶ五剣山の違いを遍路道を歩いて解明しよう！」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
青森県	研究発表	物理	青森県立八戸高等学校	自然科学部	2	1	3
青森県	研究発表	化学	青森県立八戸高等学校	自然科学部	2	0	2
山形県	研究発表	物理	山形県立山形東高等学校	探究部理数班科学部門	1	1	2
山形県	研究発表	地学	山形県立致道館高等学校	科学部	3	1	4
東京都	研究発表	生物	東京都立立川高等学校	生物部	3	1	4
神奈川県	研究発表	地学	神奈川県立多摩高等学校	地学部	3	1	4
石川県	研究発表	化学	石川県立七尾高等学校	SSC	3	1	4
長野県	研究発表	地学	長野県飯山高等学校	自然科学部	3	1	4
長野県	ポスター発表	生物	長野県松本県ヶ丘高等学校	生物研究	1	1	2
愛媛県	研究発表	地学	愛媛県立松山西中等教育学校	科学・情報部	2	1	3
鹿児島県	研究発表	物理	鹿児島県立大島高等学校	化学部	3	1	4
				合計	26	10	36

<訪問先> 八栗寺参道、高松市 石の民俗資料館（高松市）

<内 容> 源平合戦でも有名な頂上が平坦な「屋島」と海をはさんで反対側にそびえる5つの峰がある「五剣山」。隣り合うこの2つの違いは何に由来するのか。地形にまつわる歴史的逸話、なぜここにうどん屋や石材業などの産業が発展するのか、四国霊場第85番札所八栗寺への参道をケーブルカーで登り、境内や参道をぶらぶら歩いて解き明かします。参道では領家花こう岩および讃岐層群に属する角礫岩や凝灰岩、讃岐岩質安山岩、砂防ダム、土砂流出防備保安林などを観察予定。さらに石の民俗資料館を見学し、庵治石（花こう岩）の産業的活用と歴史についても学びます。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 野外活動が可能な服装（黒くないものが望ましい）、帽子、歩きやすい靴
水分補給ができるもの（真夏のハイキングのため多めに用意、活動中の自動販売機はケーブル乗り場、石の民俗資料館のみ）、雨具（雨天時）

<バス号車> P号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 上りはケーブルカー利用しますが、下りは徒歩で八栗寺参道を散策します。
バスに乗車する前に香川大学で更衣します。（男子：432 講義室、女子：431 講義室）

Q「高松帝酸株式会社 工場見学 ～産業用ガスを使った実験 & 水素社会体験～」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
北海道	研究発表	化学	北海道函館中部高等学校	科学部	3	1	4
埼玉県	研究発表	化学	立教新座高等学校	自然科学クラブ	1	1	2
千葉県	研究発表	化学	千葉県立長狭高等学校	科学部	2	1	3
千葉県	ポスター発表	化学	千葉県立長狭高等学校	科学部	2	0	2
東京都	研究発表	化学	立教池袋高等学校	科学部	1	1	2
和歌山県	研究発表	物理	私立開智中学校・高等学校	サイエンス部	3	1	4
香川県	研究発表	物理	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
香川県	ポスター発表	物理	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	3	0	3
香川県	ポスター発表	物理	香川県立観音寺第一高等学校	電気部	3	1	4
福岡県	研究発表	化学	福岡県立明善高等学校	化学部	3	1	4
沖縄県	ポスター発表	生物	沖縄県立北山高等学校	生物部	2	1	3
				合計	26	9	35

<訪問先> 高松帝酸株式会社（高松市）

<内 容> 「ガス」と聞いてあなたは何を思い浮かべますか？身の回りにあふれているにもかかわらず、目に見えない「気体」が我々の生活にもたらす恩恵は計り知れないものがあります。その中でも「液体窒素」を製造し、産業・医療など様々な分野に提供している高松帝酸株式会社を訪問します。-196℃の極低温が生み出す未知の世界では、物質がどのように変化するのか？人々の快適で健康的な生活のなかに「ガス」がどのように活かされているのか。講義・実験を通して見えない気体を「観る」理科的な視野を身につけてみましょう。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 筆記用具・バインダー、雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> Q号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 屋外での工場見学があるため、水分補給等の暑さ対策を万全にしておくことが望ましい。工場見学における溶接体験・実験等の体験は参加生徒のみとなります。

R 「米と小麦の科学 ～酒造り・化粧品作り・讃岐うどん用小麦開発～」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
青森県	研究発表	地学	青森県立青森高等学校	自然科学部	3	1	4
宮城県	研究発表	物理	宮城県仙台第一高等学校	物理部	2	1	3
茨城県	研究発表	化学	茨城県立日立北高等学校	科学部	2	1	3
栃木県	研究発表	生物	栃木県立佐野高等学校	科学部	2	1	3
群馬県	研究発表	化学	群馬県立太田女子高等学校	理科学研究部	3	1	4
岐阜県	研究発表	生物	岐阜県立大垣北高等学校	自然科学部	3	1	4
山口県	研究発表	生物	学校法人山口高川学園 高川学園高等学校	科学部	2	1	3
香川県	研究発表	生物	香川県立三本松高等学校	科学部	3	1	4
佐賀県	研究発表	生物	佐賀県立致遠館高等学校	科学部	3	1	4
大分県	研究発表	物理	大分県立大分上野丘高等学校	物理部	2	1	3
大分県	研究発表	化学	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	2	1	3
大分県	ポスター発表	化学	大分県立大分上野丘高等学校	化学部	2	0	2
				合計	29	11	40

<訪問先> 勇心酒造株式会社、香川県農業試験場（綾川町）

<内 容> 「さぬき三白」と言われるように、香川県では昔から「砂糖作り」「塩作り」「綿花作り」が盛んにおこなわれていました。温暖で降水量が少ない香川では干ばつも多く、米の収量が少ない時にも大丈夫なようにこれらの栽培を行い、明治以降に「さぬき三白」という商品ブランド化したようです。そんな讃岐の国では、「さぬき三白」以外にも「白いもの」～「米作り」「小麦作り」も盛んでした。今回は「米」から酒造り、さらにはその過程で発見されたライスパワーエキスをを使った化粧品などの商品開発のお話を伺います。また、美味しい讃岐うどん作りに適した県産小麦「さぬきのゆめ 2023」の開発に関するお話を伺い、うどんの試食もしていただきます。讃岐うどん用の小麦といえばA S W（オーストラリア産の小麦）が一般的ですが、その風味、食感の違いをお楽しみください。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> R号車

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 小麦アレルギーがある方は、讃岐うどんの試食はお控えいただきます。

S「見て 触って 歩いて 聴いて♪ サヌカイトを五感で楽しもう！」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計	バス
秋田県	研究発表	物理	秋田県立大館鳳鳴高等学校	物理部	3	1	4	S-1
栃木県	研究発表	地学	栃木県立鹿沼東高等学校	科学部	3	1	4	
愛知県	ポスター発表	地学	名古屋高等学校	地球科学部	2	1	3	
滋賀県	研究発表	地学	滋賀県立米原高等学校	地学部	3	1	4	
滋賀県	ポスター発表	地学	滋賀県立彦根東高等学校	グローバルサイエンス部地学班	3	1	4	
兵庫県	研究発表	物理	兵庫県立姫路東高等学校	科学部物理系研究部	3	1	4	S-2
香川県	研究発表	生物	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	3	0	3	
香川県	ポスター発表	生物	香川県立観音寺第一高等学校	生物部	3	1	4	
熊本県	研究発表	生物	熊本学園大学付属高等学校	サイエンス部	3	1	4	
熊本県	研究発表	地学	熊本県立宇土高等学校	科学部地学班	3	1	4	
				合計	29	9	38	

<訪問先> 金山 けいの里（坂出市）

<内 容> 金山は良質のサヌカイトが容易に採石できる場所として縄文時代より知られていました。その金山にある「けいの里」にて、サヌカイトの産状見学、採集、観察を行います。古くから石器として利用され、流通した歴史、サヌカイトでつくられた楽器などについて学び、サヌカイト楽器の演奏を鑑賞します。湧き水を利用した八十八名物「ところてん」を味わうこともできます。

※ところてんは希望者が各自で購入となります。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 歩きやすい服装（長袖長ズボン推奨）、帽子、運動靴、タオル、虫よけスプレー、飲み物、雨天時は雨具の準備をお願いします。

<バス号車> S-1号車、S-2号車（マイクロバス2台に分かれて乗車します。）

<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> バスに乗車する前に香川大学で更衣します。（男子：432 講義室、女子：431 講義室）

T 「みとよモリングの収穫・焙煎体験と天空の鏡『父母ヶ浜』散策」

<参加校>

都道府県	発表区分	分野	学校名	部名	生徒	引率	計
埼玉県	研究発表	物理	埼玉県立熊谷西高等学校	自然科学部	3	1	4
埼玉県	研究発表	地学	埼玉県立伊奈学園総合高等学校	地質天文部	3	1	4
東京都	ポスター発表	生物	安田学園高等学校	生物部	3	1	4
新潟県	研究発表	物理	新潟県立新潟高等学校	物理	3	1	4
山梨県	研究発表	化学	山梨県立甲府南高等学校	物質化学部	3	1	4
香川県	研究発表	物理	高松第一高等学校	自然科学部	3	1	4
香川県	研究発表	地学	香川県立三本松高等学校	科学部	3	1	4
香川県	ポスター発表	生物	香川県立高瀬高等学校	生物部	2	1	3
高知県	研究発表	地学	土佐塾高等学校	天文部	3	1	4
長崎県	研究発表	地学	長崎県立長崎南高等学校	科学部	1	1	2
				合計	27	10	37

<訪問先> 株式会社MITOYO-MORINGA、父母ヶ浜（三豊市）

<内 容> 最近注目のモリングは、ワサビノキ科に属し、わずかの期間で大きく成長する生命力の強い植物です。栄養に富む有効成分を多く含むモリングは、いわゆるスーパーフードとしてお茶やサプリ、スキンケア用品の原料として使われます。今回の巡検では、モリングの収穫体験や焙煎体験、試食を通じてモリングの魅力を探ります。あわせて、生産者に農業に対する熱い思いを語ってもらいます。きっと農業を通して地域を活性化するヒントが得られることでしょう。

もう一つの目的地は、穏やかな瀬戸内の海をのぞむ父母ヶ浜です。南米ボリビアのウエニ塩湖のような写真が撮れると話題のスポットです。風のない干潮時の潮だまりに天空を映し出す鏡のような幻想的な光景を見ることができます。

<雨天時> 晴天時に同じ。

<服装・持ち物> 雨天時は雨具の準備をお願いします。帽子があればご用意ください。

<バス号車> T号車

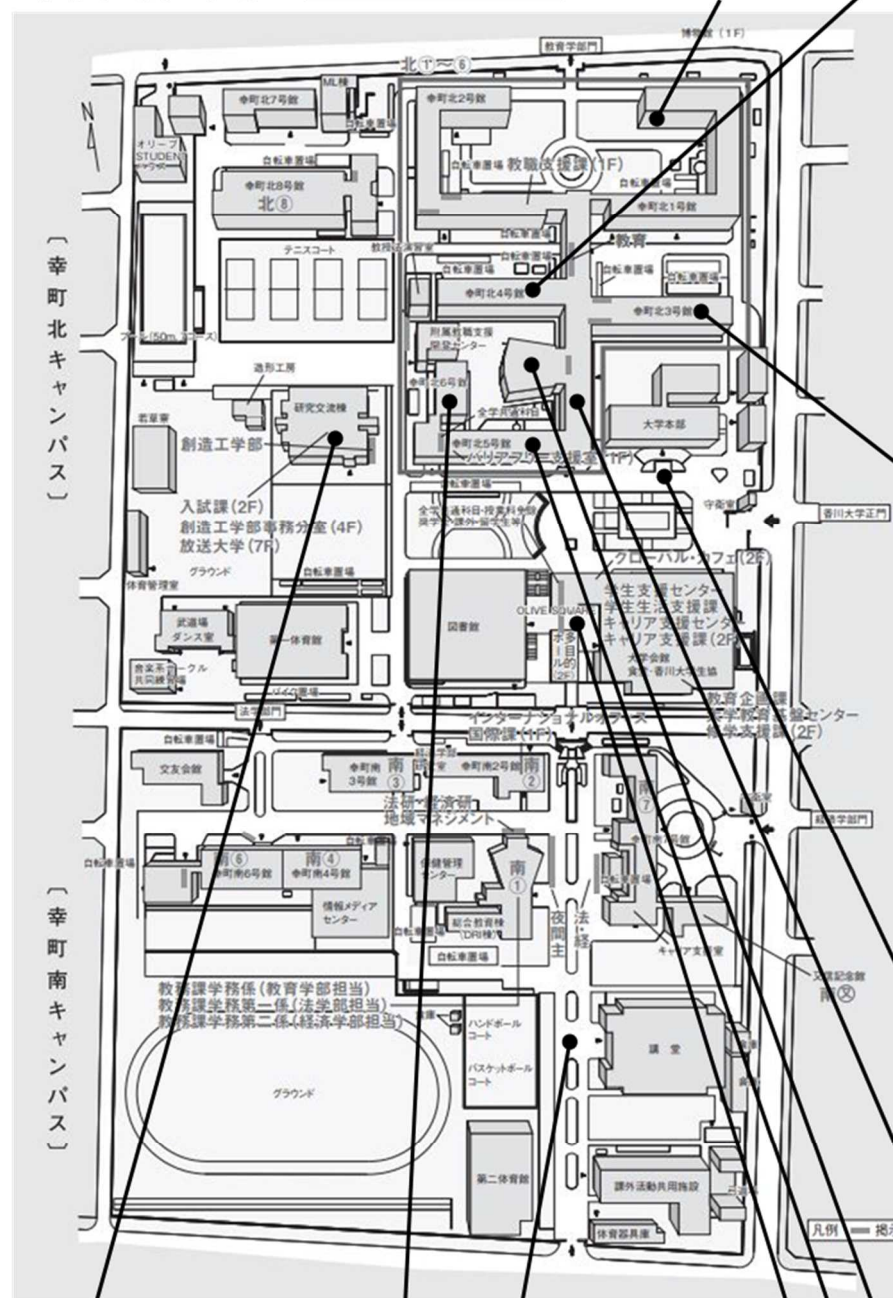
<出発時間・乗車場所> 13時30分までに南キャンパス講堂前に集合してください。

<連絡事項> 屋外での活動があるため、水分補給等の熱中症対策をしてください。

会場案内図

香川大学 幸町キャンパス

香川大学博物館



北4号館

- 1F
 411講義室 研究発表(地学A)
 412講義室 研究発表(地学B)
 413講義室 控室(生・地)
 教授法演習室 控室(生・地)
- 2F
 421講義室 控室(物・化)
 422講義室 控室(物・化)
 423講義室 控室(物・化)
- 3F
 431講義室 控室(運営生徒)
 ※ 7/27 12:00~女子更衣室
 432講義室 控室(運営生徒)
 ※ 7/27 12:00~男子更衣室
 433講義室 控室(運営生徒)

北3号館

- 1F
 311講義室 控室(生・地)
 312講義室 控室(生・地)
 313講義室 総合案内
 弁当受取場所
 来賓・一般受付
 314講義室 研究発表(生物B)
- 2F
 321講義室 研究発表(化学A)
 322講義室 控室(物・化)
 323講義室 研究発表(化学B)
- 3F
 331講義室 開会式(ポスター)
 控室(ポスター)
 332講義室 控室(運営生徒)

- ★巡検研修バス乗り場
 大学本部前
 12:45発 ABコース
 13:00発 CDコース
 13:30発 LMコース

北4号館

- 2F
 425講義室 全国専門部控室
 426講義室 集計室2
 427講義室 集計室1
 428講義室 審査室

415講義室

- 開会式会場
 研究発表(生物A)

北5号館

- 2F
 522講義室 運営控室
 523講義室 運営控室
 524講義室 救護室
 525講義室 大会本部
 526講義室 運営控室
 (常任理事会)

研究交流棟

- 1F 展示・多目的スペース
 参加者受付 ※7/26のみ

北6号館

- 1F
 611講義室 研究発表(物理A)
 2F
 621講義室 研究発表(物理B)

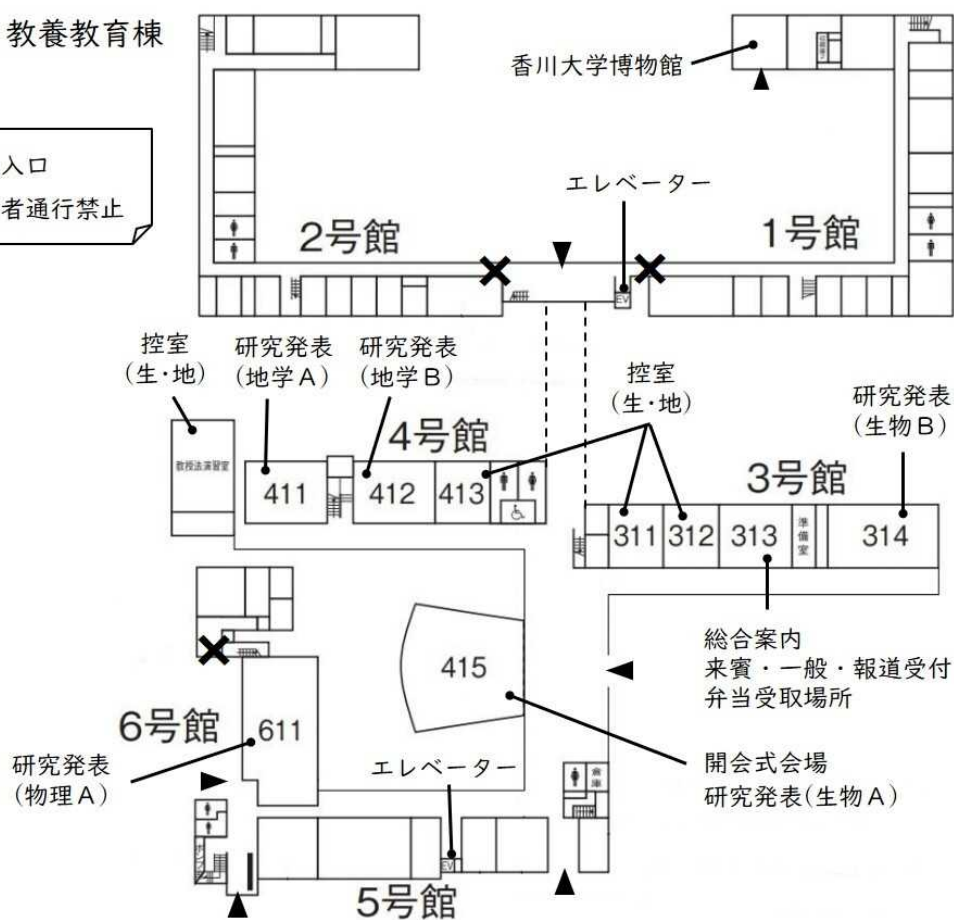
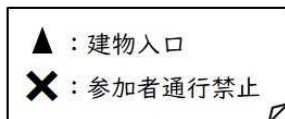
★巡検研修バス乗り場

- 南キャンパス講堂前
 13:00発 EFGHIJKコース
 13:30発 NOPQRSTコース

OLIVE SQUARE 大学会館

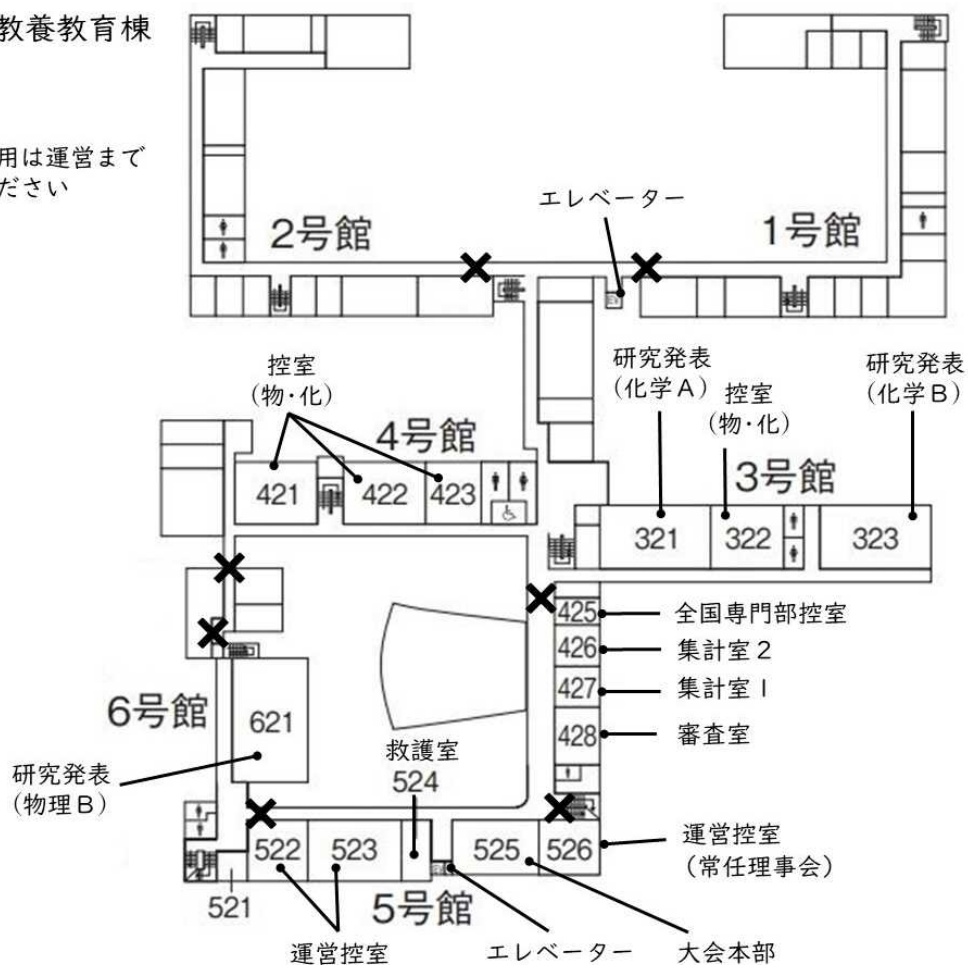
- 2F
 多目的ホール ポスター発表A
 学習ラウンジ ポスター発表B
 カフェテリア ポスター発表B

教育学部・教養教育棟
1階

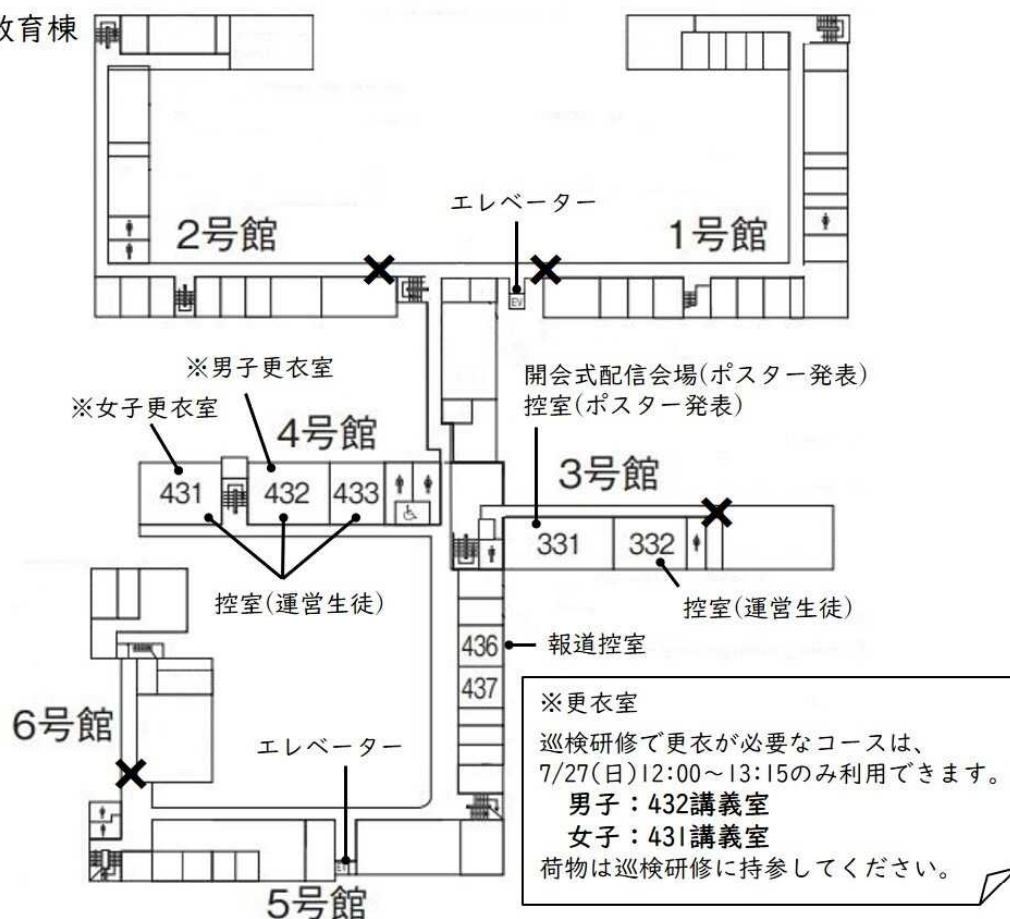


教育学部・教養教育棟
2階

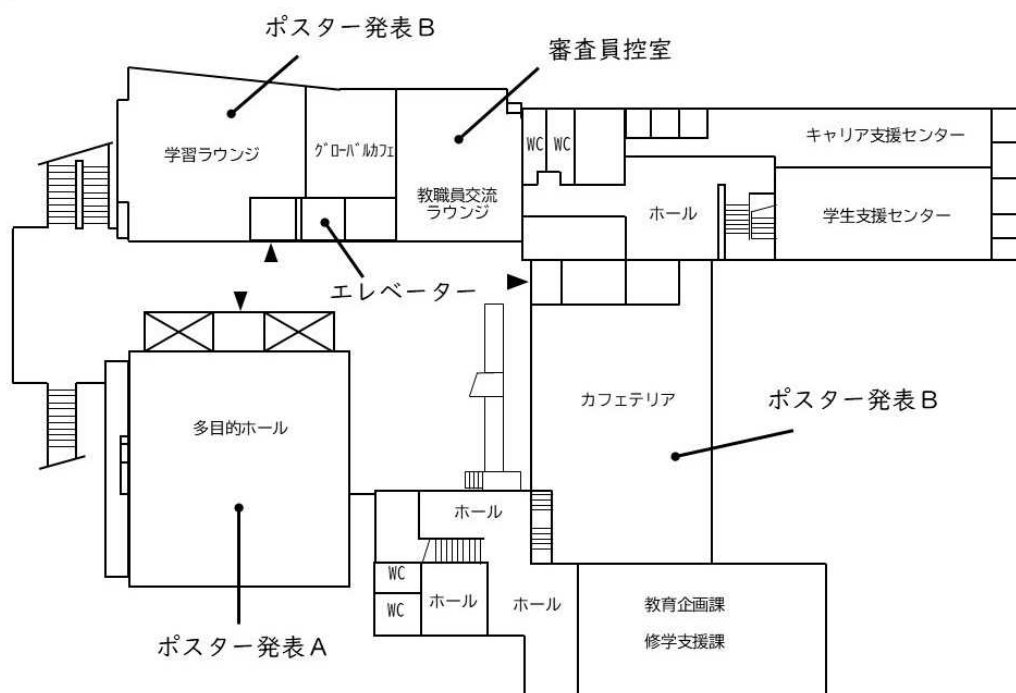
※救護室の利用は運営まで
お声掛けください



教育学部・教養教育棟
3階

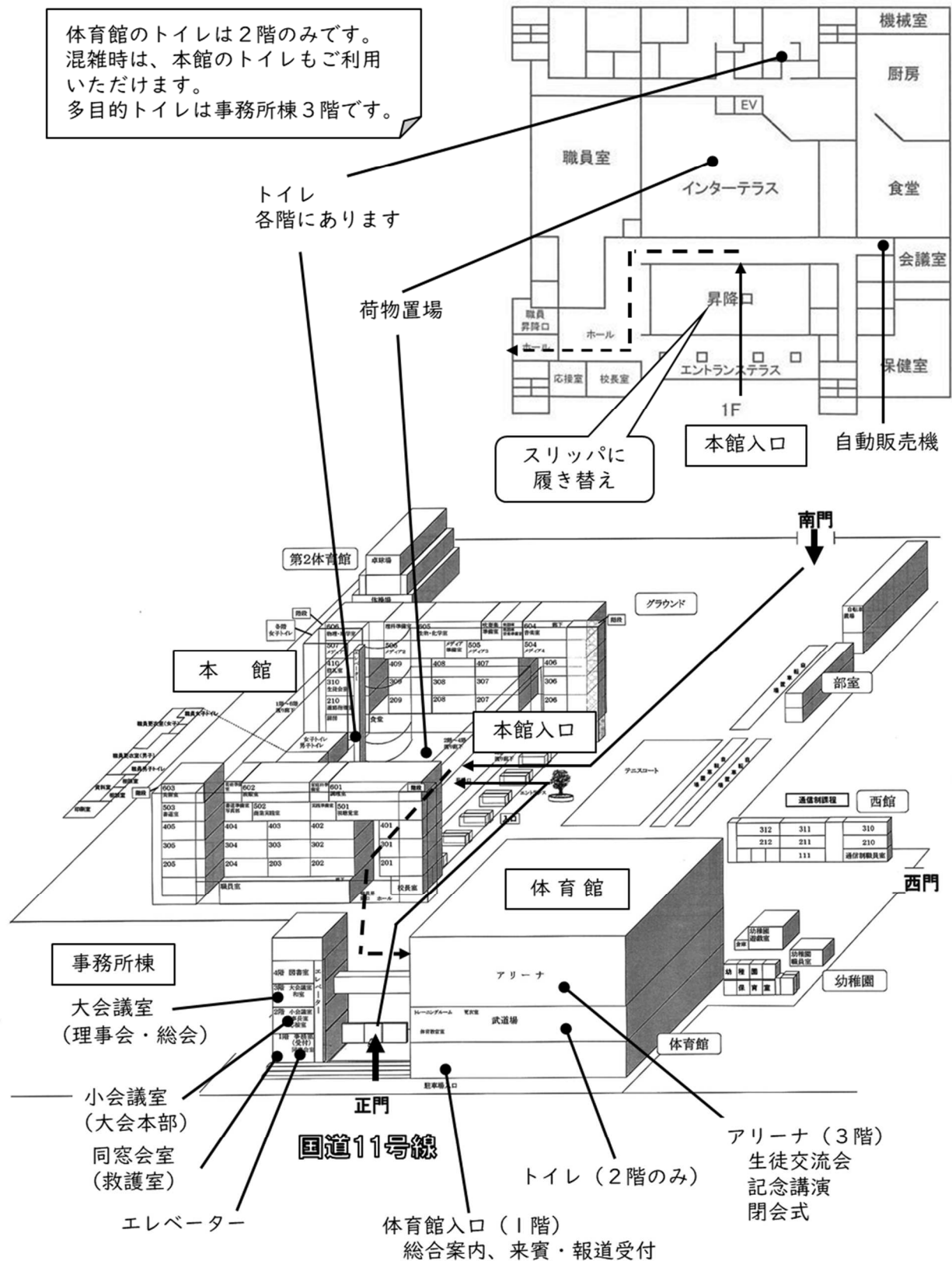


OLIVE SQUARE (オリーブスクエア)・大学会館
2階



高松中央高等学校

本館1階平面図



- ・全員本館入口より入場してください。
- ・駐車場はありません。

周辺地図



<アクセス>

香川大学

JR 高松駅から徒歩 20 分。JR 昭和町駅から徒歩 6 分。
ことでんバス「香川大学教育学部前」から徒歩 1 分。

高松中央高等学校

JR 栗林駅から徒歩約 20 分。
ことでん今橋駅から徒歩約 2 分。ことでん瓦町駅から徒歩約 10 分。
ことでんバス「市民文化センター前」から徒歩 1 分。

問い合わせ先

	自然科学部門事務局	実行委員会事務局
所在地	〒761-8025 高松市鬼無町山口 257-1	〒760-8582 高松市天神前 6-1
名称	香川県立高松西高等学校内 第 49 回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 代表委員 いしい やすふみ 石井 泰史	香川県教育委員会事務局 全国高校総合文化祭推進室内 第49回全国高等学校総合文化祭 香川県実行委員会事務局
連絡先	TEL 087-882-6411 080-4386-2958 FAX 087-882-6413 E-mail shizenkagaku@kagawa- soubunsai2025.pref.kagawa.jp	TEL 087-832-3772 FAX 087-831-1912 E-mail kagawa-soubunsai2025@pref.kagawa.lg.jp
その他	大会公式ホームページに情報を掲載しますので、定期的に確認してください。 (https://kagawa-soubunsai2025.pref.kagawa.lg.jp/)	

緊急時の対応などについて（参加生徒・参加校の皆様へ）

I 大会参加にあたっての留意事項

1 健康（体調）管理に十分気をつけてください。

- ① 大会参加時のマスクの着用は、個人の判断に委ねます。ただし、感染防止対策としてマスクの着用が効果的な場面等や症状がある場合等においては、マスクの着用を推奨します。
- ② 感染症の接触感染を避けるため、屋外から室内へ入る時、トイレの後や食事の前後など、こまめに手を洗い、手指衛生に努めてください。
- ③ 他者に飛沫を飛ばさないよう、咳・くしゃみをする時は、ティッシュ・ハンカチや袖・肘の内側などを使って、口や鼻を押さえ、咳エチケットを行ってください。
- ④ 夏は高温多湿のため、「熱中症」「食中毒」が発生しやすい時期ですので、十分注意してください。
- ⑤ 熱中症を予防するため、こまめに水分や塩分を補給するとともに、宿舎においてはエアコンを使用して適切な温度を保つように努めてください。
- ⑥ 医療機関での受診費用は実行委員会で負担できません。
なお、健康保険証がない場合は、医療費全額が実費負担となる場合があります。

2 大会参加時のお願い

- ① 引率者は、感染症予防のため、最新の情報を確認の上、移動中や宿舎内等の大会会場外においても、適切な指導を行ってください。
【参考】文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル（2023.5.8～）」
https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html
- ② 引率者は、参加生徒の健康状態を把握しておいてください。※特にアレルギー、心臓疾患等の症状などまた、大会期間中は、朝食時等に参加生徒の健康観察を行ってください。
- ③ 体調不良（感染症の疑い等）がある場合は、直ちに引率者に相談し、医療機関を受診し、適切な対応をとってください。
- ④ 大会期間中に医療機関を受診した場合は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から必ず報告してください。
- ⑤ 救護所に内服薬は置いていません。日頃服用している常備薬を、必ず持参してください。

3 貴重品・手荷物は自己管理してください。

4 自然災害に備えましょう。

- ① 注意報、警報等の気象情報については、テレビ、ラジオ、携帯電話等で早めに把握してください。
- ② 災害時の安否確認
地震などの大きな災害発生時に、被災地等への安否確認のため、下記のサービスが利用できます。
詳しくは各電話会社に確認してください。
○災害用伝言板サービス（携帯電話） 携帯電話会社各社から提供されています。
○災害用伝言ダイヤル「171」（一般電話、公衆電話、携帯電話）NTTから提供されています。
URL：<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

Ⅱ 緊急時の情報収集

緊急時の大会開催については、大会公式ホームページの「新着情報」で情報を入手してください。
大会公式SNS（インスタグラム、X）でも緊急時の情報発信を行います。
あらかじめフォローをお願いいたします。



公式HP



インスタグラム



X

Ⅲ 開催計画変更時の対応

緊急時、当日の部門大会開催情報は随時更新されますので、大会公式ホームページの「新着情報」などにより、最新情報を入手してください。

当日の部門大会 開始時刻の繰り 下げの場合	宿舎又は自宅に いる場合	・部門大会開催情報が更新されるまでは、原則として、宿舎又は自宅 で待機してください。 ・警報などが解除され、当日の開催を決定した時点で、公式ホーム ページ等に掲載しますので、確認してください。
	移動中の場合	原則として、宿舎又は自宅に戻ってください。その際、移動中の状 況により、引率者が、戻るか会場に向かうかを判断してください。
	会場にいる場合	部門責任者の指示に従い、行動してください。
当日の部門大会終了時刻の繰り上げ が決定された場合	部門責任者の指示に従い、行動してください。	
当日の部門大会が開催中止となった 場合	特に連絡のない限り、宿舎又は自宅で待機してください。開催会場 は、原則として、開場しません。	

Ⅳ 体調不良者やけが人が発生した場合の対応

1 会場における救護

各会場には救護所を設置しています。体調不良やけがをした参加者等に対して応急処置を行います。
なお、医療機関での診療等が必要な場合は、医療機関を案内するほか、緊急を要する場合は、救急車
の出動要請を行いますので、引率者は必ず同行してください。

2 宿舎等での対応

宿舎等で傷病者が発生した場合、引率者は必要に応じ、救急車の出動要請や医療機関での受診等を行
うようにしてください。いずれの場合も引率者は必ず同行してください。（次頁の「大会会場外における
救護対応フォローチャート」をご覧ください）

※軽度の傷病を除き、受診後は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から必ず報告してくだ
さい。

3 大会会場外における救護対応フローチャート

① 緊急を要する場合

傷病等の発生

宿舎等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。

救急車の
出動要請

症状が緊急を要すると判断した場合、引率者は、宿舎の協力を得て直ちに救急車の出動要請を行う。

部門大会
運営本部
への報告

救急車の出動要請後、引率者は速やかに部門大会運営本部に報告する。
各部門の連絡先は公式ホームページで確認すること。

緊急連絡先

(大会開催2週間前を目途に公開予定)



大会運営
本部への報告
(受診後)

引率者は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会運営本部に報告する。

受診報告フォーム

(大会開催2週間前を目途に公開予定)



② 緊急を要しない場合

傷病等の発生

宿舍等、大会会場外で傷病等が発生した場合、引率者が対応に当たる。

救急車要請の 判断

引率者は、救急車の出動要請を行うか判断する。

医療機関等の 確認

救急車の出動要請は必要ないと判断した場合、引率者は、宿舍の協力を得て、医療機関等を確認する。（下記を参照）
実際に受診する際は、事前に医療機関に受診の可否を確認する。

大会運営 本部への報告 (受診後)

引率者は、大会公式ホームページの【受診報告フォーム】から、受診結果を大会運営本部に報告する。

受診報告フォーム
(大会開催2週間前を目途に公開予定)



- 急な病気やけがをしたとき、救急車を呼んだほうがいいか、今すぐ病院に行った方がいいかなど、判断に迷ったときは

救急電話相談 # 7 1 1 9 (つながらないときは 087-812-1055)

- 今診てもらえる医療機関等を探すには、「医療情報ネット（ナビイ）」で検索
<https://www.qq.pref.kagawa.lg.jp/>



V 不審者、不審物への対応

不審者、不審物を発見した場合は、直ちに近くの運営スタッフにお知らせください。

身の安全を第一に考えて行動し、不審者に対しては無理に立ち向かおうとせず、危険を感じた場合は大声で助けを呼んでください。

また、不審物には触れないようにお願いします。

VI 緊急連絡先

大会期間中の各部門大会緊急連絡先は、公式ホームページで確認してください。

第 49 回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭 2025）における 個人情報の取扱いについて（参加者の皆さんへ）

第 49 回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭 2025）への参加申込書を提出された方の個人情報については、次のとおり取扱うことになりますので、御了承ください。

なお、この取扱いは、準備活動、練習、広報PR活動、開催日における運営等、関連行事のすべてが対象となります。

1 個人情報の内容

- (1) 参加者の氏名、学校名、学年、性別
- (2) 競技・審査結果
- (3) 参加者及び展示発表作品の写真、映像等

2 個人情報の利用目的

- (1) プログラム、部門作品集等への掲載
- (2) 実施要領、運営要領等への掲載
- (3) 展示キャプション等の掲載
- (4) 会場内アナウンス等
- (5) 大会公式ホームページ、大会公式SNS、記録集、記録DVD等記録関係冊子への掲載
- (6) 報道機関等への提供（テレビ、ラジオ、ホームページ、新聞、雑誌等に写真や映像が使用されることがあります。）
- (7) 総文祭後催県、地方公共団体等への提供
- (8) Web 開催及びオンライン配信実施時の放映（一部を変更して用いることがあります。）

3 個人情報の適正管理

取得した個人情報を前記に掲げる利用目的以外に使用することはありません。ただし、緊急の場合、医療機関等との間で個人情報を提供又は収集することがあります。

4 その他

- (1) 演奏、演技、展示、競技等の様子について、実行委員会事務局の許可を得た事業者が撮影を行うことがあります。
- (2) 個人情報の取扱いについて御不明な点があれば、実行委員会事務局にお問い合わせください。

<問合せ先>

第 49 回全国高等学校総合文化祭香川県実行委員会事務局
（香川県教育委員会事務局全国高校総合文化祭推進室内）

TEL：087-832-3772 E-mail：kagawa-soubunsai2025@pref.kagawa.lg.jp